

各流域の減災に係る取組方針に基づく状況報告について

令和2年 6月

第6回 常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川等
大規模氾濫に関する減災対策協議会

減災のための取組項目 (概ね5年間)					北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			立山町			舟橋村				
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	
1. ハード対策の主な取組																								
■洪水を河川内で安全に流す対策(緊41)																								
		①浸透対策 ②バイピング対策 ③侵食・洗掘対策	W	順次実施, 引き続き実施	・洪水を安全に流すためのハード対策の推進	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。 常願寺川: 1.2km実施済(完了)		引き続き実施			①実施済													
					・防災拠点等の整備の検討	・防災拠点等の整備を検討する。 検討中		引き続き実施			②実施中													
		④本川と支川の合流部等の対策(緊42)	W	引き続き実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、堤防決壊が発生した場合に湛水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる恐れのある区間において、堤防強化対策等を概成。							堤防決壊が発生した場合に湛水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる恐れのある区間において、堤防強化対策等を推進 ※実績は精査中	R1~ R1~											
		⑤多数の家屋や重要施設等の保全対策(緊43)	W	順次実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消。 ・関係者が連携して、対策後における継続的な維持管理が可能な体制を構築。	・河道内の河道掘削・樹木伐採 【R2完了予定】 ◇改修(河道掘削・樹木伐採) ・11.5k~12.4k ◆維持(河道掘削) ・R15.7k~R16.0k予定 ◆維持(樹木伐採) ・L15.5k~L18.0k、R5.7k~R7.1k、R14.6k~R16.6k ・L10.4k~L10.8k、L13.1k~L13.7k ・L13.7k~L15.7k予定	H30~R2	②実施中				氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木伐採や河道掘削等を推進 ・継続的な維持管理が可能な体制を検討。 ※実績は精査中	H30~ H30~											
		⑥土砂・洪水氾濫への対策(緊45)	W	順次実施	【砂防】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに土砂・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所のうち緊急性の高い約410箇所(砂防)・約20河川(河川)において人命への著しい被害の防止する砂防堰堤、遊砂地等の整備や河道断面の拡大等の対策を概ね完了。							土砂・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所において、砂防堰堤等の整備を推進 ※実績は精査中	H30~ H30~											
■危機管理型ハード対策																								
		⑦堤防天端の保護(緊26) ⑧堤防裏法尻の補強(緊26)	X	引き続き実施	・越水が発生した場合の危機管理型ハード対策の推進	・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進する。 常願寺川: 5.5km実施済(完了)		引き続き実施			①実施済	検討中												
								引き続き実施				検討中												

赤字: 令和元年度の取組内容、青字: 緊急行動計画を踏まえた取組状況項目

下線追記: 事務局が確認した実施内容の備考
(令和2年度以降の取組み予定はカッコ書き、実施中とした)

減災のための取組項目 (概ね5年間)					北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			立山町			舟橋村			
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																							
⑨	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	O, R, T		H28年度から検討	・水防資材の確認・整備	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H30.6.6】合同巡視時に実施 【R1.6.12】合同巡視時に実施 【R2.6.4】合同巡視時に実施	引き続き実施	①実施済	・水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H29.5.23】立山土木管内河川施設点検 【H30.6.6】合同巡視時に実施 【H30.5.24】立山土木管内河川施設点検 【H30.6.6】富山土木管内合同巡視時に実施 【R1.5.14】立山土木管内河川施設点検 【R1.6.12】合同巡視時に実施	引き続き実施	①実施済	・水防倉庫の備蓄材などを水防パトロールにて確認する。 ・出水期前後に水防倉庫の備蓄確認を実施 【H28.6.8】常願寺川・神通川合同巡視時に確認 【H29.5.31】常願寺川・神通川合同巡視時に確認 【H30.6.6】常願寺川・神通川合同巡視時に確認 【R1.6.12】常願寺川・神通川合同巡視時に確認	H28年度から検討	①実施済	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討	①実施済	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討	①実施済	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討	②実施中
				H28年度から検討	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備 検討中	H28年度から検討	②実施中	・水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H29.5.23】立山土木管内河川施設点検 【H30.6.6】合同巡視時に実施 【H30.5.24】立山土木管内河川施設点検 【H30.6.6】富山土木管内合同巡視時に実施 【R1.5.14】立山土木管内河川施設点検 【R1.6.12】合同巡視時に実施	引き続き実施	①実施済	・新技術を活用した資機材の配備 ウォーターフェンスなど調査研究	H28年度から検討	②実施中	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討	③未実施	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討	②実施中	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討	②実施中	
⑩	円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	L, N		H28年度から順次整備	・簡易水位計、CCTVカメラの設置	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	H28年度から順次整備	①実施済	・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所) ・簡易水位計の設置 【H28.10】常願寺川左岸8.4k、右岸9.7k簡易水位計設置 【H28.12】常願寺川左岸8.8kCCTV設置 【H31.1】危機管理型水位計6箇所設置 【R2.2】常願寺川左岸1.3k簡易型河川監視カメラ設置	引き続き実施	①実施済	・河川沿川における同報系防災行政無線の整備を検討する。 検討中	引き続き実施	②実施中	・河川沿川における同報系防災行政無線の整備を検討する。 検討中	引き続き実施	②実施中						
					①洪水予測や水位情報の提供強化(ダム放流警報設備等の耐水化や改良等、水文観測所の停電対策)(緊25)	I	引き続き実施	・水位・流量観測所の無停電対策 H30までに実施済 ・全てのテレメータ観測所で実施済み H30までに実施済	H30までに実施済	①実施済	検討中		進捗を自己評価										
⑫	応急的な退避場所の確保(緊28)	F		令和2年度から検討	【国・都道府県管理河川共通】 ・安全な避難場所への避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合の緊急的な避難先を確保する必要がある地域において退避場所の整備。 ・洪水ハザードマップに記載されている民間施設等を活用した緊急的な避難先の事例を収集し、調整内容や協定の締結方法等について協議会の場等を通じて情報提供。				検討中		進捗を自己評価	洪水ハザードマップ作成において緊急避難場所を検討する。	引き続き実施	②実施中	具体的な取り組みはなし。今後必要に応じて検討する。		②実施中	【安全な避難所・避難場所の選定】	【令和2年度から検討】	②実施中			
											検討中			20箇所(追加分)	引き続き実施								

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			立山町			舟橋村			
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗		
		⑬市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)(緊35、緊40)	M	順次実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・引き続き、協議会等の場において、浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有。また、耐水化、非常用電源等の必要な対策については各施設管理者において順次実施。対策の実施状況については協議会で共有。 【国管理河川】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2019年度までに全国の災害活動拠点施設となる事務所及び事務所をつなぐ重要な通信中継施設(10地方整備局等)の停電対策、通信機器の整備が不足している事務所へ災害対策用通信機器の増強等を2019年に実施。	・自治体の対応状況を把握して関係者で共有(庁舎・災害拠点病院の機能確保) 検討中	引き続き実施 検討中	②実施中	施設に関する情報を収集し検討 今後検討	今後検討	②実施中	市庁舎の機能確保のための対策を検討する。	引き続き実施	①実施済	具体的な取り組みはなし。しかし今後必要に応じて非常用発電機等の整備、需給策を検討する。			②実施中	(庁舎の耐水化、非常用電源を確保)	(令和2年度から検討)	②実施中	
		⑭重要インフラの機能確保(緊47)	F	引き続き実施	【砂防】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに土砂災害によりインフラ・ライフラインの被災する危険性が高い箇所のうち緊急性の高い約320箇所において、インフラ・ライフラインへの著しい被害を防止する砂防堰堤の整備等の対策を概ね完了。				インフラ・ライフラインの被災する危険性が高い箇所において砂防堰堤等の整備を推進 H30～	H30～	②実施中											
		⑮樋門等の施設の確実な運用体制の確保(緊48)	X	順次実施	<樋門や水門等の無動力化・遠隔操作化等の推進> 【国・都道府県管理河川共通】 ・津波浸水リスクの高い地域等において、水門等の自動化・遠隔操作化を順次実施。 【国管理河川】 ・フラップ化等の無動力化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施。 【都道府県管理河川】 ・国と都道府県が参加する技術研究会等において、国の無動力化の取組について情報提供し、都道府県河川における無動力化の推進に資する技術的助言を実施。 <確実な施設の運用体制確保> 【国管理河川】 ・市町村以外で操作委託が可能な団体について検討を実施。				樋門や水門等の無動力化・遠隔操作化等について検討 今後検討	今後検討	③未実施											

2. ソフト対策の主な取組 ①急流河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組

■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

①常願寺川の洪水の歴史・洪水特性の周知・促進理解のための副教材の作成・配布	A, B, C	順次実施	・副教材の作成・配布	・常願寺川の洪水の歴史・洪水特性の周知、促進理解のための副教材の作成・配布	順次実施	②実施中	・常願寺川の洪水の歴史・洪水特性の周知、促進理解のための副教材の作成・配布に協力する。	順次実施	②実施中	・国が作成された副教材の配布に協力し、住民への周知に努める。	順次実施	③未実施	・配布に協力する。	順次実施	③未実施	・配布に協力する。	順次実施	③未実施
				・今後作成予定	引き続き実施	・検討中	引き続き実施	作成され次第、配布に協力し、住民へ周知	順次実施	【H28.7】H19作成の浸水ハザードマップの内容を一部修正し再度配布作成され次第、配布に協力し、住民へ周知	順次実施	作成され次第、配布に協力し、住民へ周知	順次実施					
②小中学校等における水災害及び土砂災害教育を実施(緊20)及び地域防災力向上のための人材育成(緊24)	A, B, C	引き続き実施	・出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	①実施済	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	①実施済	・小・中学校から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施する。	引き続き実施	①実施済	・水辺の楽校等川と触れ合う機会に水害教育等の実施を考えていく。	引き続き実施	①実施済	・教育委員会、PTAとの協議の実施	引き続き実施	①実施済
				【H28.12.9】富山工業高校生に出前講座を実施 【H30.9.21】支援校の富山市立新庄小学校で出前講座による防災教育を支援 【R1.9.25】舟橋村立舟橋小学校で出前講座による防災教育を支援 【R1.10.30】立山町立立山小学校で出前講座による防災教育を支援	引き続き実施	説明会の実施 ・栃津川 【H28.6.21】立山北部小学校1年生ほか ・白岩川ダム 【H28.9.30】富山市立上条小学校4年生 【H28.10.7】上市町立相ノ木小学校4年生	引き続き実施	【H28.6.8】富山県教育会にて出前講座(気象全般)を実施 【H29・H30・R1】出前講座や見学会で小中学校への水防教育の啓発を実施	引き続き実施	【H30.9.21】支援校の富山市立新庄小学校で出前講座を実施 【H30.10.22】新庄北小学校5年生に出前講座を実施	引き続き実施	参加国交省実施予定の防災教育に協力する	引き続き実施	継続して実施	引き続き実施			
③出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A, B, C	引き続き実施	・出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	①実施済	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	①実施済	・町内会や自主防災組織から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施している。	引き続き実施	①実施済	・防災に関する出前講座の依頼がある場合、防災アドバイザーと協力してハザードマップ等について説明する。	引き続き実施	①実施済	・広報、HP等	引き続き実施	①実施済
				【H28.9.25】町村自治会にて出前講座を実施 【H29.6.2】常願寺川右岸水防市町村組合議会議員研修にて講座を実施 【H29.9.23】常願寺川に関する防災シンポジウムで講演を実施 【H30.6.28】常願寺川右岸水防市町村組合議会議員研修にて講座を実施 【H30.10.28】富山市新金代自主防災会にて講座を実施	引き続き実施	説明会の実施 ・栃津川 【H28.11.6】栃津川を受する会(災害について) ・白岩川ダム 【H28.8.25】立山町谷口地区町内会	引き続き実施	【H29.9】気象台で水防法改正や新しい気象情報についての勉強会を実施 【H29.9.25】立山町で自主防災組織を対象とした出前講座を実施 【H29・H30・R1】出前講座や見学会で水防教育の啓発を実施 【R1.11.15】防災気象講演会を実施	引き続き実施	出前講座の実施 【H28】61回 【H29】37回 【H30】60回 【R1】61回	引き続き実施	要請があれば実施	引き続き実施	継続して実施	引き続き実施			

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			立山町			舟橋村				
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗			
		④効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	A, B, J	順次実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	②実施中	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成)	順次実施	②実施中	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	②実施中	・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布	引き続き実施	②実施中	・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布	順次実施	②実施中	・広報、HP等	順次実施	②実施中
						[H29.6]プッシュ型配信開始チラシの作成及び配布依頼	引き続き実施	・検討中	引き続き実施	・気象情報等のチラシの配布	引き続き実施	作成され次第、配布に協力し、住民へ周知	順次実施	チラシの配布協力	順次実施	継続して実施	引き続き実施						
		⑤自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	C	H27年度から順次、毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検	・重要水防箇所等の共同点検を実施	H27年度から順次、毎年実施	①実施済	・重要水防箇所等の共同点検の実施	H28年度以降検討	①実施済			・国、県と共同点検に毎年参加	毎年実施	①実施済	・河川管理者が実施する重要水防箇所等の共同点検に参画する。	順次毎年実施	①実施済	・自治会との共同点検の実施を検討	順次毎年実施	①実施済	
						[H28.6.8]沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 [H29.5.31]沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 [H30.6.6]沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 [R1.6.12]沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 [R2.6.4]沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	[H29.5.31]沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 [H30.6.6]沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 [R1.6.12]合同巡視時に実施 [R2.6.4]合同巡視時に実施	引き続き実施			[H28.6.8]常願寺川・神通川合同巡視で共同点検を実施 [H29.5.31]常願寺川・神通川合同巡視で共同点検を実施 [H30.6.6]常願寺川・神通川合同巡視で共同点検を実施 [R1.6.12]常願寺川・神通川合同巡視で共同点検を実施	毎年実施	[R1.6.12]常願寺川・神通川合同巡視で共同点検を実施	順次毎年実施	継続して実施	引き続き実施						
⑥災害リスクの現地表示(緊19)	E, F, G, H	順次実施	・まるごとまちごとハザードマップへの情報提供	・市町村が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供	順次実施	②実施中	・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表	H28年度から順次実施	①実施済			・ハザードマップ見直しの際に実施の必要性について検討する。	必要があれば検討	②実施中	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	②実施中	・まるごとまちごとハザードマップの整備を検討 ・ハザードマップの更新の際に検討	順次実施	②実施中			
				・検討中	引き続き実施	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表 [H31.3.29]白岩川、大岩川、栃津川、上市川	引き続き実施			ハザードマップ作成後、必要があれば設置を検討	必要があれば検討	ハザードマップ検討中	必要があれば検討	ハザードマップ検討中	必要があれば検討								
		⑦住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実及び地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携(緊22)	M	順次実施	・自助・共助の促進のための普及啓発。自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援			・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援	引き続き実施	①実施済	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して避難訓練等を支援	引き続き実施	①実施済	・自主防災組織結成に向けての出前講座の実施 ・自主防災組織への訓練補助金や資機材補助金の交付 ・自主防災組織構成員が防災士の資格取得のための補助金の交付 ・地域包括支援センターに洪水ハザードマップを周知する	引き続き実施	②実施中	・自主防災組織への訓練補助金や資機材補助金の交付	順次実施	①実施済	・広報、HP等	順次実施	①実施済	
								[H28年度]自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援を実施	引き続き実施	継続して実施	引き続き実施	・自主防災組織結成に向けての出前講座を実施 ・訓練補助金や資機材補助金の交付を実施 ・防災士資格取得のための補助金交付を実施 ・防災士による防災講座の実施(富山県防災士会との協働) ・地域の防災リーダー育成研修を実施(富山県防災士会との協働) ・地域包括支援センターへ洪水ハザードマップの配布を検討	引き続き実施	実施	順次実施	継続して実施	引き続き実施						
		⑧避難訓練への地域住民の参加促進(緊21)	M	順次実施	【国・都道府県管理河川、砂防共通】 ・引き続き、関係機関が連携して実施する、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練について、実施状況や様々な工夫、今後の予定を協議会等の場で共有。 【下水道】			水防管理団体が行う訓練等の支援及び参加	引き続き実施	②実施中	要請による訓練への支援	引き続き毎年実施	②実施中	自主防災組織等の防災訓練への支援	引き続き実施	②実施中	不定期ではあるが、町で実施する防災訓練には、広く住民に知らせ、より多くの住民が訓練に参加するよう、強く勧める。		②実施中	(令和2年8月30日の県総合防災訓練で実施)	(令和2年度)	②実施中	
								参加実績 [H28~R1]水防管理団体が実施する水防訓練 [H28~R1]北陸地整館内水防技術講習会	引き続き実施	[H29.9.30]富山県総合防災訓練 [H30.9.29]富山市防災訓練に参加	引き続き毎年実施	引き続き支援を実施 [R1]264回	引き続き実施										

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			立山町			舟橋村					
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗				
		⑨住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進(緊23)	M	順次実施	<p>【国・都道府県管理河川共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区の結果を踏まえ、2020年度までに市町村向けの実施要領等を作成するとともに全国展開の方策について検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなでタイムラインプロジェクトとやまの実施 	R2~	②実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・マイタイムライン作成に向けた市町村の取組を支援 	R2~	②実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携して効果的な対応に協力 	順次実施	③未実施	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織などへの支援。ホームページでの周知・啓発。 	引き続き実施	②実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・防災士と協力し、2地区での地区計画作成を啓発、推進する。また平時からの防災啓発やセミナー等の周知も強化し、地区住民の意識が高まるよう促す。 	②実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・(各自自主防災組織と協議して作成について検討) 	②実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・(令和2年度から検討) 	②実施中	
					<ul style="list-style-type: none"> ・(富山防災センターに、市町村のハザードマップの閲覧とマイタイムラインを作成できる常設展示コーナー開設) 	(R2.4~)					検討中		検討中		<ul style="list-style-type: none"> ・【R1】防災士会と連携した支援を実施 	引き続き実施								
2. ソフト対策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行動のための取組																								
■情報伝達、避難計画等に関する事項																								
		①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実、出水期前にホットライン等の連絡体制を確認(緊2) 危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理(緊7)	I, J, K, L, L2	順次実施	<ul style="list-style-type: none"> ・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信 	順次実施	①実施済	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な国・市町村・防災関係機関等がリアルタイムで閲覧、書込み、情報共有を実施 ②また、アラート等を活用し、報道機関等との連携により住民等へ被害情報等を迅速・的確に提供 ・河川情報システムの改良携帯端末向けのシステムの実施 ・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所) ・簡易水位計の設置 ・一般向けの緊急速報メール配信の実施 	引き続き検討	①実施済	<ul style="list-style-type: none"> ・気象警報・注意報等を発表し、現象ごとに警戒、注意期間及び雨のピーク時間帯、量などの予想最大値を周知し、必要に応じて、自治体、関係機関に情報伝達(ホットライン)を実施 	順次整備	①実施済	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ式防災行政無線をデジタル式に再整備 ・避難情報をリアルタイムに受信できる、SNSやスマートフォンアプリについて引き続き、普及を図る。 	順次整備	①実施済	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急速報エリアメールによる情報発信 ・富山県総合防災情報システムの一括情報配信にて、住民に災害情報を伝達 ・Twitterによる情報発信 ・町HPによる緊急災害情報の発信 	順次整備	②実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線の活用 	順次整備	①実施済	
					<ul style="list-style-type: none"> ・【H28.3】スマートフォン向け機能を追加し、運用開始 ・【H29.5.1】プッシュ型による緊急速報メールの配信開始 	引き続き実施		<ul style="list-style-type: none"> ・【H28.8.1】新たな富山県総合防災システムの運用開始 ・【H30.2.15】河川情報システムの更新 ・【H30.6.1】河川監視カメラ画像の一般公開開始 ・【R1.5.31】危機管理型水位計の水位情報提供開始 	引き続き実施		<ul style="list-style-type: none"> ・【H29.3】「はん蓋」へ「氾濫」へ情報文、電文の変更を実施した。 ・【R1.12.24】「危険度分布」にリスク情報を重ね合わせを開始。 ・大雨が予想された場合、関係機関に情報伝達を実施 	引き続き実施		<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ式防災行政無線をデジタル式に再整備を進めている。 ・SNSやスマートフォンアプリについて広報、HPおよび出前講座での普及を推進 	引き続き実施		<ul style="list-style-type: none"> ・大雨時に情報発信 ・町避難訓練時に情報発信ケーブルテレビにおいてテロップを流す。 	順次整備		継続して実施	引き続き実施			
		②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	E	順次実施	<ul style="list-style-type: none"> ・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など 	<ul style="list-style-type: none"> ・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供 	順次実施	①実施済	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供 	順次実施	①実施済	<ul style="list-style-type: none"> ・富山河川国道事務所、富山県及び関係市町村と共同で整備・改善を支援 	順次実施	①実施済	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムラインの検証 	引き続き実施	①実施済	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善 	順次実施	①実施済	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善 	順次実施	①実施済	
					<ul style="list-style-type: none"> ・【H29.6】タイムライン作成済。今後、出水後の検証及び改善を実施 	引き続き実施		<ul style="list-style-type: none"> ・【H31.2.20】市町村担当者向け説明会を実施 ・【R1.9.5】市町村担当者向け説明会を実施 	引き続き実施		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の勉強会 ・大雨災害時の市町村の対応等の聞き取り調査を実施 	引き続き実施		<ul style="list-style-type: none"> ・タイムライン作成済み 	引き続き実施		<ul style="list-style-type: none"> ・タイムライン作成済み 	順次実施		<ul style="list-style-type: none"> ・タイムライン作成済み 	引き続き実施			
		③想定最大規模も含めた決壊地点別浸水想定区域図(緊12)等、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表) 適切な土地利用の促進(緊52)	F, G, H	H28年度から順次実施	<ul style="list-style-type: none"> ・常願寺川の洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の氾濫シミュレーションの公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表 	H28年度から実施	①実施済	<ul style="list-style-type: none"> ・検討中 		進捗を自己評価							<ul style="list-style-type: none"> ・(想定最大規模を含めたハザードマップを配布予定。) 	[R2.4]	②実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度末に完成・配布済 	実施済	①実施済	
					<ul style="list-style-type: none"> ・【H28.6.20】洪水浸水想定区域図の策定・公表済 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成・提供済。 ・【H30.6】想定最大規模による氾濫シミュレーションを公表(浸水ナビ) ・【H31.3.18】洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)の修正・公表 	実施済		検討中																
■情報伝達、避難計画等に関する取組																								
		④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	F, G, H, M	H28年度から順次実施	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供 	H28年度から実施	①実施済							<ul style="list-style-type: none"> ・立ち退き避難が必要な区域について避難方法の検討を行う。 	H29年度から検討	②実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・集落が集落毎に1次集会所、2次集会所等を設定及び、垂直避難等ルート策定の重要性を啓発する。 	H28年度から順次実施	②実施中				
					<ul style="list-style-type: none"> ・【H28.6.20】浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域を公表済 	実施済									<ul style="list-style-type: none"> ・新たな洪水ハザードマップ作成に合わせて検討 	引き続き実施		<ul style="list-style-type: none"> ・集落へ啓発し、今後実施 	引き続き実施					

項目	事項	減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			立山町			舟橋村		
		カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗
		⑤参加市町村による広域避難計画の策定及び支援(緊13)	F, G	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	②実施中	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	①実施済				・隣接市町村と協議し、検討する。	必要があれば検討	②実施中	・河川管理者、隣接市町村などの関係機関と協議を実施し、広域避難に関する計画を策定する。	H28年度から順次実施	②実施中	・地域防災計画の見直し等	H28年度から順次実施	②実施中	
		⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知(緊18)	E, F, G, H	H28年度から順次実施	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から実施	①実施済	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	①実施済	「危険度分布」にハザードマップを重ね合わせ	順次実施	②実施中	洪水ハザードマップの更新を行う	富山県の浸水想定区域の策定を受けて策定	②実施中	・ハザードマップを見直し、全戸配布する。	H28年度から順次実施	②実施中	・ハザードマップを見直し、全戸配布する。	H28年度から順次実施	②実施中	
		⑦水位予測の検討及び精度の向上	D	H28年度から検討	・水位予測の精度向上の検討・システム改良	引き続き実施	②実施中	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表 【H31.3.29】白岩川、大岩川、板津川、上市川	引き続き実施		「[R1.12.24]「危険度分布」にハザードマップを重ね合わせを開始。	引き続き実施		「(想定し得る最大の降雨による洪水浸水を反映した洪水ハザードマップ作成し、R2年6月 配布予定)」	引き続き実施		・想定し得る最大の降雨による洪水浸水を反映した洪水ハザードマップ作成(R2.3完成済み予定)	H29年度以降実施		・想定し得る最大の降雨による洪水浸水を反映した洪水ハザードマップ作成(R2.3完成済み予定)	H30年度以降実施		
		⑧気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	L	H29年度から検討	・新しい防災気象情報を気象庁HPで提供	引き続き実施					「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供 ・洪水警報の危険度分布の提供	H29年度	①実施済										
		⑨水位周知河川以外の河川における水害危険性の周知促進(緊5)	C	令和2年度から検討	【都道府県管理河川】 ・2021年度を目途に、市町村の役場等に係る河川の内、現在、未指定の約1,000河川において簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供(水害危険性の周知)。(既に水位周知河川等に指定されている約1,500河川とあわせ約2,500河川で水害危険性を周知。) ・毎年、協議会等の場を活用して、水害危険性の周知の実施状況を確認。			水位周知河川以外の河川における必要性について検討	今後検討	③未実施													
		⑩住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報の共有(緊6)	L1	令和2年度から順次実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・水害・土砂災害関連の記者発表内容や情報提供サイト等について、内容や用語が分かりやすいか、また、放送で使いやすいか等の観点から、情報発信者である行政関係者と情報伝達者であるメディアが連携して点検会議を開催し、用語や表現内容を改善。 ・防災情報の提供に関するメディア説明会を開催	R2~ (R2.7予定)	②実施中	点検会議等への参画について検討	R2~	③未実施	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	③未実施										
		⑪洪水予測や河川水位の状況に関する解説(緊8)	L, L1	順次実施	【国管理河川】 ・出水時に、国土交通省職員等普段現場で災害対応に当たっている専門家がリアルタイムの状況をテレビやラジオ等のメディアで解説し、状況の切迫性を直接住民に周知。	今後検討	③未実施	気象台との合同会見 ※地整と事務所との役割分担、事務所と気象台での合同会見実施の有無等について調整が必要															
		⑫防災施設の機能に関する情報提供の充実(緊9)	L1	令和元年度から順次実施	【都道府県管理河川】 ・道府県管理ダム435のうち、洪水時の操作に関するわかりやすい情報提供が必要なダムは、関係機関と調整し、調整が整ったダムから順次実施。			洪水時の操作に関するわかりやすい情報提供の実施	R1~	①実施済	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	②実施中										
								全ダムで通知の内容を見直し	R1		検討中	検討中											

項目	事項	減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			立山町			舟橋村			
		カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	
		促進(緊31)																						
		⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	R	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加 【H28.9-11】第4回～第6回水防技術基礎講座に参加 【H29.9-10】第1回～第3回水防技術基礎講座に参加 【H30.9-11】第4回～第6回水防技術基礎講座に参加 【R1.5.18】総合水防演習を実施	引き続き実施 引き続き実施	①実施済 ①実施済	・水防技術講習会に参加 引き続き実施 【H28年度】北陸地整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加 【R1.10.11、11.14、12.10】水防技術講習会に参加	引き続き実施 引き続き実施	①実施済 ①実施済													
		⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	T	H28年度から検討	・復旧活動の拠点等配置計画の検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討 ・検討中	H28年度から検討 引き続き実施	③未実施 ③未実施	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表 【H31.3.29】白岩川、柳津川、大岩川、上市川	H28年度から順次実施 引き続き実施	①実施済 ①実施済													
		⑦大規模水害を想定した常願寺川排水計画(案)の検討を実施(緊37)	U、V	H28年度から検討	・排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	・樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討 【R1年度】排水ポンプ車の適切な配置計画及び排水シミュレーション検討を実施	H28年度から検討 引き続き実施	①実施済 ①実施済	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討 ・検討中	今後検討 引き続き実施	②実施中 ②実施中													
		⑧排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	V	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備、情報共有	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備、情報共有 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【H31.4.26】洪水対応演習を実施 【R1.5.18】総合水防演習を実施 【R1.6.6】水防連絡会総会で確認	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	①実施済 ①実施済	・連絡体制の確認 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.25】水防連絡会にて確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H31.4.26】洪水対応演習を実施 【R1.6.6】水防連絡会にて確認	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	①実施済 ①実施済													

減災のための取組項目 (概ね5年間)					北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			立山町			舟橋村			
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗
		⑨関係機関が連携した排水実働訓練の実施	X	順次実施	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	H28年度から順次実施	①実施済	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施	①実施済				・水防訓練の実施	引き続き実施	①実施済	・町総合防災訓練と合同で実施を検討	順次実施	③未実施	・防災訓練と合同で実施を検討	順次実施	①実施済
						【H29.4.21】定期訓練の実施 【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加 【H29.5.29】定期訓練の実施 【H30.4.26】定期訓練の実施 【H30.5.24】実働訓練の実施 【R1.5.25】富山市主催の水防訓練へ参加 【R1.7.10】内水氾濫危険箇所合同調査	引き続き実施		【H28年度】北陸地方整備局管内水防技術講習会への参加 【H29.5.27】富山市主催の水防訓練(場所:富山市水橋入江地先 常願寺川右岸 常盤橋下流)へ参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加 【R1.10.11、11.14、12.10】水防技術講習会に参加	引き続き実施					【H28.5.28】神通川右岸にて水防訓練を実施 【H29.7.28】富山防災センターにて排水作業訓練を実施 【H29.5.27】常願寺川右岸にて水防訓練を実施 【H30.5.26】神通川右岸にて水防訓練を実施 【H30.7.25】富山防災センターにて排水作業訓練を実施 【R1.5.25】常願寺川左岸において、水防訓練を実施 【R1.6.28】富山防災センターにて排水作業訓練を実施	引き続き実施		今後検討	H29年度以降		継続して実施	引き続き実施	
		⑩ダム等の洪水調節機能の向上・確保(緊46)	W	令和2年度から順次実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、人命を守るため、ダムの洪水調節機能を維持・確保するための緊急的・集中的な対策が必要な箇所において、緊急的・集中的に対策を実施し概成。 ・「ダム再生ビジョン」及び「ダム再生ガイドライン」を踏まえ、既設ダムのかさ上げや放流能力の増強等の施設改良によるダム再生事業をはじめ、ダム再生の取組をより一層推進。 【国管理河川】 ・「ダムの柔軟な運用」の更なる運用に向けて、国及び水機構管理123ダムで関係機関等と調整や検討を引き続き行い、調整が整ったダムから順次運用を開始。 ・水系ごとの治水上・利水上の課題の検討や、ダムの施設改良の候補箇所の全国的な調査、具体的な箇所でのダム施設改良の実施に向けた諸元等の検討を行うなど、施設改良によるダム再生を推進する調査を推進。 ・ダムの洪水調節機能を十分に発揮させるため、流下能力の不足によりダムからの放流の制約となっている区間の河川改修を推進。	・洪水調節機能強化に関する治水協定) (R2.5.29 締結)	②実施中	検討中		進捗を自己評価	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	③未実施										
						(○協定対象ダム数:8基 ○協定者 ・富山河川国道(河川管理者) ・富山県(河川管理者) ・北陸電力(株)(利水ダム管理者) ※今後、実施要領、連絡体制、行程表等について調整を進める。)	(R2.5.29 締結)	検討中		検討中	検討中												
		⑪河川管理の高度化(緊49)	N, O, P	令和2年度から順次実施	【国管理河川】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2018年度までに、開発したドローンを配備。 【都道府県河川】 ・開発したドローンについて国から都道府県へ情報提供。	・ドローンの事務所配備	R2.3	①実施済	河川管理におけるドローン活用の検討	今後検討	③未実施												
						○ドローン2台(市販品)を事務所に配備 ※操作職員養成が課題 ※ドローン担当窓口:防災課	R2.3																

減災のための取組項目 (概ね5年間)					北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			立山町			舟橋村				
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																								
		⑫要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施(緊14)	M	H28年度から順次実施	<p>・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う。</p> <p>【H29.4.9-11】要配慮者利用施設への説明会の実施 【H30.8.28】洪水ハザードマップに関する説明会を開催</p> <p>・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言</p>	<p>引き続き実施</p> <p>②実施中</p>	<p>・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 ・出前講座や説明会の開催</p> <p>【H29.2.22】要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施 【H29.4.9-11】要配慮者利用施設への説明会の実施 【H31.2.6】出前講座等を実施(富山県サービスセンター協議会) 【H31.2.20】市町村担当者向け説明会を実施 【H31.3.26.27】施設管理者(介護保険施設)説明会で説明 【R1.7.3】出前講座等で説明(県精神障害者障害福祉サービス事業所連絡協議会) 【R1.9.5】市町村担当者向け説明会を実施</p> <p>想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表 【H31.3.29】白岩川、栢津川、大岩川、上市川</p>	H28年度から順次実施	<p>②実施中</p>	<p>・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の支援</p> <p>引き続き実施</p> <p>②実施中</p>	<p>・避難確保計画作成に向けた周知啓発</p> <p>H29年度から検討</p>	<p>②実施中</p>	<p>・要配慮者利用施設に対する、技術的助言を行う。</p> <p>H28年度から順次実施</p>	<p>②実施中</p>	<p>・地域防災計画の見直し等</p> <p>H28年度から順次実施</p>	<p>②実施中</p>	<p>・要配慮者利用施設に対する、技術的助言を行う。</p> <p>H28年度から順次実施</p>	<p>②実施中</p>	<p>・地域防災計画の見直し等</p> <p>H28年度から順次実施</p>	<p>②実施中</p>	<p>・要配慮者利用施設に対する、技術的助言を行う。</p> <p>H28年度から順次実施</p>	<p>②実施中</p>	<p>・地域防災計画の見直し等</p> <p>H28年度から順次実施</p>	<p>②実施中</p>
		⑬大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	K	H28年度から実施	<p>・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言</p> <p>市町村の要請に基づき、技術的な支援を行う。</p>	<p>引き続き実施</p> <p>②実施中</p>	<p>・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供</p> <p>・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表 【H31.3.29】白岩川、栢津川、大岩川、上市川</p>	H28年度から順次実施	<p>①実施済</p>			<p>・ハザードマップによる浸水リスクの周知</p> <p>H29年度から検討</p>	<p>②実施中</p>	<p>・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。</p> <p>H28年度から実施</p>	<p>③未実施</p>	<p>・広報、HPでPRを実施</p> <p>H28年度から実施</p>	<p>②実施中</p>	<p>・ハザードマップによる浸水リスクの周知</p> <p>H29年度から検討</p>	<p>②実施中</p>	<p>・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。</p> <p>H28年度から実施</p>	<p>③未実施</p>	<p>・広報、HPでPRを実施</p> <p>H28年度から実施</p>	<p>②実施中</p>	
		⑭早期復興を支援する事前の準備(民間企業BCP策定支援)(緊36)	K	順次検討	<p>【国・都道府県管理河川共通】</p> <p>・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、堤防決壊が発生した場合に湛水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる恐れのある区間において、堤防強化対策等を概成。</p> <p>・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消。</p> <p>・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、近年、浸水実績があり、病院、市役所など生命や防災上重要な施設の浸水が想定される約200地方公共団体及び約100河川において、近年の主要降雨等による重要施設の浸水被害を防止軽減するため、雨水排水施設の整備や河川改修等の対策を概ね完了。</p> <p>・民間企業による水害対応版BCP策定を促進するため「水害対応版BCP策定の手引き(仮)」を作成・公表。等</p>	<p>検討中</p> <p>③未実施</p>	<p>・民間企業の水害対応版BCP策定に対する支援として必要な河川情報の提供</p> <p>検討中</p>	<p>検討中</p>	<p>進捗を自己評価</p>			<p>【国のガイドラインをホームページにて周知する】</p> <p>(R2年度以降)</p> <p>②実施中</p> <p>具体的な取り組みはないが、今後必要に応じて検討していく。</p>	<p>(R2年度以降)</p> <p>②実施中</p>	<p>②実施中</p>	<p>検討中</p>	<p>②実施中</p>	<p>検討中</p>	<p>②実施中</p>	<p>検討中</p>	<p>②実施中</p>	<p>進捗を自己評価</p>			

項目	事項	減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			射水市		
		カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗
1. ハード対策の主な取組																				
■洪水を河川内で安全に流す対策(緊41)																				
		①浸透対策 ②パイピング対策 ③流下能力対策 ④侵食・洗掘対策 ⑤堤防整備	X,W	引き続き実施、順次実施、引き続き整備	・洪水を安全に流すためのハード対策の推進	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。 神通川:6.8km実施済	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。 いたち川:護岸L=340m 山田川:護岸L=320m 太田川:護岸工L=165m 坪野川:鉄道橋架替工事1式 護岸工L=25m	引き続き実施 引き続き実施	①実施済									
		⑥本川と支川の合流部等の対策(緊42)	X	引き続き実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、堤防決壊が発生した場合に湛水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる恐れのある区間において、堤防強化対策等を概成。	・防災拠点等の整備を検討する。 検討中	引き続き実施 引き続き実施	②実施中	堤防決壊が発生した場合に湛水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる恐れのある区間において、堤防強化対策等を推進 山田川:調査設計 ※実績は精査中	R1~ R1~	②実施中									
		⑦多数の家屋や重要施設等の保全対策(緊43)	X	順次実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消。 ・関係者が連携して、対策後における継続的な維持管理が可能な体制を構築。	・河道内の河道掘削・樹木伐採 【R2完了予定】 ◇改修(河道掘削・樹木伐採) ・神通川:0.2k~3.0k、22.8k~23.2k ・井田川4.0k~4.6k ◆維持(河道掘削) ・R17.0k~R17.4k予定 ◆維持(樹木伐採) ・神通川:L3.2k~L15.4k4箇所、R14.6k~R17.0k2箇所 ・井田川:L7.4k~L9.8k、R7.2k~R13.0k2箇所 ・熊野川:L3.2k~L3.8k ・神通川:L0.0k~L3.2k、L15.4k~L16.0k ・井田川:L0.8k~L2.4k ・神通川:L15.8k~L16.0k、L17.0k~L17.4k ・井田川:L11.2k~L11.8k ・井田川:R1.2k~R2.4k ・熊野川:R0.0k~R1.0k	H30~R2 H30~R2 H30 R2予定 H30 R1 R2予定	②実施中	氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木伐採や河道掘削等を推進 ・継続的な維持管理が可能な体制を検討。 熊野川:河道掘削L=m ※実績は精査中	H30~ H30~	②実施中									
		⑧土砂・洪水氾濫への対策(緊45)	X	順次実施	【砂防】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに土砂・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所のうち緊急性の高い約410箇所(砂防)・約20河川(河川)において人命への著しい被害の防止する砂防堰堤、遊砂地等の整備や河道断面の拡大等の対策を概ね完了。				土砂・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所において、砂防堰堤等の整備を推進 ※実績は精査中	H30~ H30~	②実施中									
■危機管理型ハード対策																				
		⑨堤防天端の保護(緊26) ⑩堤防裏法尻の補強(緊26)	Y	引き続き実施	・越水が発生した場合の危機管理型ハード対策の推進	・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進する。 神通川:32.5km実施済	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進する。 山田川:L=176m	H28年度から順次整備 H28完了	①実施済									

赤字: 令和元年度の取組内容、青字: 緊急行動計画を踏まえた取組状況項目

下線追記: 事務局が確認した実施内容の備考
(令和2年度以降の取組み予定はカッコ書き、実施中とした)

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			射水市		
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																		
①	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	M,P,Q		H28年度から検討	・水防資材の確認、整備	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 引き続き実施		①実施済	水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 引き続き実施		①実施済				・水防倉庫の備蓄材などをパトロールにて確認する。 H28年度から検討	①実施済	・河川管理者と連携し、水防資機材の配備状況を確認し整備を行う。 H28年度から検討	①実施済
				H28年度から検討	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備 H28年度から検討	引き続き実施	②実施中	水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 引き続き実施		①実施済			・出水期前後に水防倉庫の備蓄確認を実施 【H28.6.8】常願寺川・神通川合同巡視時に確認 【H29.5.31】常願寺川・神通川合同巡視時に確認 【H30.6.6】常願寺川・神通川合同巡視時に確認 【R1.6.12】常願寺川・神通川合同巡視時に確認	引き続き実施	・出水期前後に水防倉庫の備蓄確認を実施 【H28.6.8】常願寺川・神通川合同巡視時に確認 【H29.5.31】常願寺川・神通川合同巡視時に確認 【H30.6.6】常願寺川・神通川合同巡視時に確認 【R1.6.12】常願寺川・神通川合同巡視時に確認	引き続き実施	・出水期前後に水防倉庫の備蓄確認を実施 【H28.6.8】常願寺川・神通川合同巡視時に確認 【H29.5.31】常願寺川・神通川合同巡視時に確認 【H30.6.6】常願寺川・神通川合同巡視時に確認 【R1.6.12】常願寺川・神通川合同巡視時に確認
②	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	M,P,Q		H28年度から検討	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備 H28年度から検討		②実施中	水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 引き続き実施		①実施済				・新技術を活用した資機材の配備 H28年度から検討	②実施中	・河川管理者と連携し、水防資機材の配備状況を確認し整備を行う。 H28年度から検討	②実施中
				H28年度から検討	・新技術を活用した資機材等の配備	検討中 引き続き実施	引き続き実施	②実施中	【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H29.6.2】富山土木管内河川施設点検 【H30.6.6】合同巡視時に実施 【H30.5.16】富山土木管内河川施設点検 【R1.6.12】合同巡視時に実施 【R1.5.21】富山土木管内河川施設点検	引き続き実施			ウォーターフェンスなど調査研究 引き続き実施	引き続き実施	検討中	引き続き実施		
③	円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	L,J		H28年度から順次整備	・簡易水位計、CCTVカメラの設置	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置 H28年度から順次整備		①実施済	・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所) ・簡易水位計の設置		①実施済							
				H28年度から順次整備	・簡易水位計、CCTVカメラの設置	【H28.8】神通川井田川左岸5.6k、右岸6.0k簡易水位計設置 【H31.1】危機管理型水位計 神通川6箇所、井田川5箇所、熊野川2箇所設置	引き続き実施	①実施済	【H29.3】河川監視カメラ4台設置 【H31.3】祖母川・田島川合流点において監視カメラ設置 【H31.3】県管理24河川において危機管理型水位計24箇所設置 【R2.3予定】河川監視カメラ9台設置	引き続き実施								
④	洪水予測や水位情報の提供強化(ダム放流警報設備等の耐水化や改良等、水文観測所の停電対策)(緊25)	I		引き続き実施	【国管理河川】 ・水害リスクラインに基づく水位予測及び洪水予測を実施。 ・洪水の最高水位やその到達時間の情報提供など、洪水予測の高度化を推進。 ・国及び水機構管理123ダムのうち、ダム放流警報等の耐水化や改良等が必要な施設については、2020年度までに対策を完了。 【都道府県管理河川】 ・道府県管理435ダムのうち、ダム放流警報等の耐水化や改良等が必要な施設については、関係機関との調整を実施し、調整が整ったダムから順次、対策を実施。 【都道府県管理河川】 ・協議会等の場を活用して、危機管理型水位計配置計画を検討・調整し、順次整備を実施。協議会の場等を活用して、配置状況を確認。 (2017年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに約5800箇所に設置)	・水位・流量観測所の無停電対策 H30までに実施済		①実施済	・ダム放流警報等の耐水化や改良等を実施 ・危機管理型水位計の設置 H30～ H29～		②実施中							
				引き続き実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・安全な避難場所への避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合の緊急的な避難先を確保する必要がある地域において避難場所の整備。 ・洪水ハザードマップに記載されている民間施設等を活用した緊急的な避難先の事例を収集し、調整内容や協定の締結方法等について協議会の場等を通じて情報提供。	・全てのテレメータ観測所で実施済み H30までに実施済	引き続き実施	②実施中	ダム放流警報等の耐水化や改良等を実施 【H31.3】室牧ダム○箇所 【H31.3】24河川24箇所 ※実績は精査中	引き続き実施								
⑤	応急的な退避場所の確保(緊28)	F		令和2年度から検討	【国・都道府県管理河川共通】 ・安全な避難場所への避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合の緊急的な避難先を確保する必要がある地域において避難場所の整備。 ・洪水ハザードマップに記載されている民間施設等を活用した緊急的な避難先の事例を収集し、調整内容や協定の締結方法等について協議会の場等を通じて情報提供。			想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表及び市町村における検討を支援	H28から順次実施		②実施中				洪水ハザードマップ作成において緊急避難場所を検討する。 引き続き実施	①実施済	・水害時の緊急避難場所として、協定を締結し民間施設等を活用する。 H28年度から検討	①実施済
				令和2年度から検討			想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表 【H30.8.17】いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	引き続き実施				20箇所(追加分)	引き続き実施				引き続き実施	【R1.11.21】水害時の緊急避難場所として、市内の2事業所と指定緊急避難場所に関する協定を締結した。

項目	事項	減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			射水市		
		カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗
		⑮市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)(緊35、緊40)	M	順次実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・引き続き、協議会等の場において、浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有。また、耐水化、非常用電源等の必要な対策については各施設管理者において順次実施。対策の実施状況については協議会で共有。 【国管理河川】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2019年度までに全国の災害活動拠点施設となる事務所及び事務所をつなぐ重要な通信中継施設(10地方整備局等)の停電対策、通信機器の整備が不足している事務所へ災害対策用通信機器の増強等を2019年に実施。	・自治体の対応状況を把握して関係者で共有(庁舎・災害拠点病院の機能確保) 検討中	引き続き実施 検討中	②実施中	施設に関する情報を収集し検討 今後検討	今後検討 ②実施中				市庁舎の機能確保のための対策を検討する。 検討中 本庁舎は一定程度の水害に対し対応済。	引き続き実施 引き続き実施	①実施済 ①実施済	・災害対策の拠点となる市庁舎等の耐水化を推進 ・市役所本庁舎については非常用電源、電気通信機器類、防災行政無線機器類などを高層階に設置	平成28年度 平成28年度	②実施中 ②実施中	
		⑯重要インフラの機能確保(緊47)	F	引き続き実施	【砂防】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに土砂災害によりインフラ・ライフラインの被災する危険性が高い箇所のうち緊急性の高い約320箇所において、インフラ・ライフラインへの著しい被害を防止する砂防堰堤の整備等の対策を概ね完了。				インフラ・ライフラインの被災する危険性が高い箇所において砂防堰堤等の整備を推進 清水谷・堰堤工N=基 ※実績は精査中	H30～ H30～	②実施中									
		⑰樋門等の施設の確実な運用体制の確保(緊48)	Y	順次実施	<樋門や水門等の無動力化・遠隔操作化等の推進> 【国・都道府県管理河川共通】 ・津波浸水リスクの高い地域等において、水門等の自動化・遠隔操作化を順次実施。 【国管理河川】 ・フラップ化等の無動力化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施。 【都道府県管理河川】 ・国と都道府県が参加する技術研究会等において、国の無動力化の取組について情報提供し、都道府県河川における無動力化の推進に資する技術的助言を実施。 <確実な施設の運用体制確保> 【国管理河川】 ・市町村以外で操作委託が可能な団体について検討を実施。				・樋門や水門等の無動力化・遠隔操作化等について検討 今後検討	今後検討 ③未実施										

2. ソフト対策の主な取組 ①急流河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組

■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																			
①小中学校等における水災害及び土砂災害教育を実施(緊20)及び地域防災力向上のための人材育成(緊24)	A,B,C	引き続き実施	・出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 【H28.12.6】桜谷小学校にて出前講座(ハザードマップ)を実施 【H28.12.9】富山工業高校生に講義 【H30.1.17】大沢野小学校にて出前講座(現地見学)を実施 【R1.6.27】熊野小学校にて出前講座を実施	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 検討中 (県管理河川、ダムにおいて小学校等に説明会を開催している。)	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援 【H28.6.8】富山県教育会にて出前講座(気象全般)を実施 【H29・H30・R1】出前講座や見学会で小中学校への水防災の啓発を実施	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	・小・中学校から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施する。 【H30.9.21】支援校の富山市立新庄小学校で出前講座を実施 【H30.10.22】新庄北小学校5年生に出前講座を実施	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	・小中学校から要望があった場合、過去に生じた水害状況の写真パネルや資料提供を行う。また、出前講座の申込があれば対応する。 小学校1校に水害状況の写真パネル等を貸し出した。	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	①実施済
②出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A,B,C	引き続き実施	・出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 【H28.6.24現在】富山市羽根地区にて出前講座を実施 【H28.11.24現在】富山市草島地区にて出前講座を実施 【H29.9.24】富山市有沢新町にて出前講座を実施	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 検討中 (県管理河川、ダムにおいて小学校等に説明会を開催している。)	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	関係機関と連携して効果的な対応に協力 【H29.9.25】気象台で水防改正や新しい気象情報についての勉強会を実施 【H29・H30・R1】自主防災会や防災士等を対象とした出前講座や見学会を随時実施 【R1.11.15】防災気象講演会を実施	順次実施 引き続き実施	①実施済	・町内会や自主防災組織から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施している。 出前講座の実施 【H28】61回 【H29】37回 【H30】60回 【R1】61回	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	・出前講座の活用を積極的に働きかける。 【H28.4-H31.3】風水害をテーマとした出前講座を3540地区で実施 【H31.4-R1.12】出前講座の実施(16回)	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	①実施済
③効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	A,B,J	順次実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 【H29.6】フッシュ型配信開始チラシの作成及び配布依頼	H28年度から実施 引き続き実施	②実施中	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) 検討中	順次実施 引き続き実施	②実施中	関係機関と連携して効果的な対応に協力 ・気象情報等のチラシの配布	順次実施 引き続き実施	②実施中	・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布 作成され次第、配布に協力し、住民へ周知	引き続き実施 順次実施	②実施中	・市広報紙面に記事を掲載し市民への啓発を図る。 【H29.5】広報：避難情報・気象情報収集等に関する啓発 【H29.6、H30.6】CATV：風水害時の対策(備蓄・情報収集)に関する啓発 【R2.1】CATV広報：防災意識啓発	順次実施 引き続き実施	②実施中	②実施中

項目	事項	減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			射水市		
		カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗
		④自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	C	H27年度から順次、毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検 【H28.6.8】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【H29.5.31】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【H30.6.6】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【R1.6.12】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	H27年度から毎年実施 引き続き実施	①実施済	・重要水防箇所等の共同点検の実施 【H28.6.8】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 【H29.5.31】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【H30.6.6】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【R1.6.12】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	H28年度以降検討 引き続き実施	①実施済				・国、県と合同で毎年実施 【H28.6.8】常願寺川・神通川合同巡視で共同点検を実施 【H29.5.31】常願寺川・神通川合同巡視で共同点検を実施 【H30.6.6】常願寺川・神通川合同巡視で共同点検を実施 【R1.6.12】常願寺川・神通川合同巡視で共同点検を実施	毎年実施 引き続き実施	①実施済	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。 検討中	順次毎年実施 引き続き実施	②実施中	
		⑤災害リスクの現地表示(緊19)	E,F,G,H	順次実施	・まるごとまちごとハザードマップへの情報提供 ・検討中	順次実施 引き続き実施	②実施中	・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表【H30.8.17】いち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	H28年度から順次実施 引き続き実施	①実施済			・ハザードマップ見直しの際に実施の必要性について検討する。 ハザードマップ作成後、必要があれば設置を検討	必要があれば検討 必要があれば検討	②実施中	・ハザードマップ見直しの際に検討する。 ハザードマップ検討中	順次実施 引き続き実施	②実施中		
		⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実及び地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携(緊22)	M	順次実施	・自助・共助の促進のための普及啓発。自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援			自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援 【H28年度】自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援を実施	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して避難訓練等を支援	引き続き実施	①実施済	・自主防災組織結成に向けての出前講座の実施 ・自主防災組織への訓練補助金や資機材補助金の交付 ・自主防災組織構成員が防災士の資格を取得するための補助金の交付 ・地域包括支援センターに洪水ハザードマップを周知する。 ・自主防災組織結成に向けての出前講座を実施 ・訓練補助金や資機材補助金の交付を実施 ・防災士による防災講座の実施(富山県防災士会との協働) ・地域の防災リーダー育成研修を実施(富山県防災士会との協働) ・地域包括支援センターへ洪水ハザードマップの配布を検討	引き続き実施	①実施済	・自主防災組織が行う活動に対する指導・助言や自主防災活動のリーダー育成を支援し自主防災組織の充実を図る。 ・県が実施する防災活動リーダー育成研修について案内し参加を促す。 ・防災活動リーダーを担う人材として防災士の育成を支援。また射水市防災士連絡協議会の活動を支援 【H28.8.21】橿田地区で市総合防災訓練実施 【H30.9.2】作道地区で富山県・射水市総合防災訓練実施 【H31.3】風水害時等の自主的な避難に関する、「市、施設管理者、住民」それぞれの役割分担やルールを明確化した「自主避難所開設・運営マニュアル」を作成	順次実施 引き続き実施	①実施済	
		⑦避難訓練への地域住民の参加促進(緊21)	M	順次実施	【国・都道府県管理河川、砂防共通】 ・引き続き、関係機関が連携して実施する、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練について、実施状況や様々な工夫、今後の予定を協議会等の場で共有。			水防管理団体が行う訓練等の支援及び参加 参加実績 【H28～R1】水防管理団体が実施する水防訓練 【H28～R1】北陸地整館内水防技術講習会	引き続き実施 引き続き実施	②実施中	要請による訓練への支援 【H29.9.30】富山県総合防災訓練 【H30.9.29】富山市防災訓練に参加	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	②実施中	自主防災組織等の防災訓練への支援 引き続き支援を実施【R1】264回	引き続き実施 引き続き実施	②実施中	・避難訓練への地域住民の参加を促進する 【R1.8.25】地震・風水害・土砂災害を想定し地域住民が参加した市総合防災訓練を水戸田地区にて実施	引き続き実施 引き続き実施	②実施中	
		⑧住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進(緊23)	M	順次実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・モデル地区の結果を踏まえ、2020年度までに市町村向けの実施要領等を作成するとともに全国展開の方策について検討。 (・富山防災センターに市町村のハザードマップの閲覧とマイタイムラインを作成できる常設展示コーナー開設)	R2～ (R2.4～)	②実施中	【マイタイムライン作成に向けた市町村の取組を支援】 (R2～)	順次実施 検討中	③未実施	関係機関と連携して効果的な対応に協力 検討中	順次実施 検討中	③未実施	自主防災組織などへの支援。ホームページでの周知・啓発。 【R1】防災士会と連携した支援を実施	引き続き実施 引き続き実施	②実施中	・住民一人一人の避難計画の作成の検討 ・先進地の情報収集を実施	引き続き実施 引き続き実施	②実施中	

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			射水市					
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗				
2. ソフト対策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行動のための取組																					
■情報伝達、避難計画等に関する事項																					
		①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実、出水期前にホットライン等の連絡体制を確保(緊2)危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理(緊7)	I, J, K, L, L2	順次実施	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信		順次実施	①実施済	・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な市町村・防災関係機関等がリアルタイムで閲覧、書込み、情報共有を実施(②また、アラート等を活用し、報道機関等との連携により住民等へ被害情報等を迅速・的確に提供 ・河川情報システムの改良携帯端末向けのシステムの実施 ・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所) ・簡易水位計の設置 ・一般向けの緊急速報メール配信の実施	引き続き実施	①実施済	・気象警報・注意報等を発表し、現象ごとに警戒、注意期間及び雨のピーク時間帯、量などの予想最大値を周知し、必要に応じて、自治体、関係機関に情報伝達(ホットライン)を実施	順次整備	①実施済	・アナログ式防災行政無線をデジタル式に再整備 ・避難情報をリアルタイムに受信できる、SNSやスマートフォンアプリについて引き続き、普及を図る。	順次整備	①実施済	・防災行政無線を整備し屋外拡声子局を56局(親局を含む)から113局に増やし、一斉放送による音達エリアを拡充する。また、放送内容と同じものをエリアメールや登録制のメール配信、CATVのL字放送、コミュニティFMの割り込み放送で配信するシステムを整備する。	整備済	①実施済
		②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	E	順次実施	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供		順次実施	①実施済	・市町村が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供	引き続き実施	①実施済	富山河川国道事務所、富山県及び関係市町村と共同で整備・改善を支援	順次実施	①実施済	・タイムラインの検証	引き続き実施	①実施済	・新たな浸水想定に基づき、現行の避難勧告等判断伝達マニュアルの見直しなど、タイムラインを意識した避難対策となるよう改善を図る。	順次整備	①実施済
		③想定最大規模も含めた決壊地点別浸水想定区域図(緊12)等、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)適切な土地利用の促進(緊52)	F, G, H	H28年度から順次実施	・神通川、西派川、井田川及び熊野川の洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の氾濫シミュレーションの公表	・洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表		H28年度から実施	①実施済	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	引き続き実施	①実施済	台風接近時に防災気象情報を発表し改善、修正点を抽出し、関係機関と調整	引き続き実施	①実施済	タイムライン作成済み	引き続き実施	①実施済	・新たな浸水想定に基づき、現行の避難勧告等判断伝達マニュアルの見直しなど、タイムラインを意識した避難対策となるよう改善を図る。	引き続き実施	①実施済
		④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	F, G, H, M	H28年度から順次実施	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供		H28年度から実施	①実施済	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表	引き続き実施	①実施済				・立ち退き避難が必要な区域について避難方法の検討を行う。	H29年度から検討	②実施中	・家屋倒壊区域等を踏まえ立ち退き避難が必要なエリアを検証し、現行の避難勧告等判断伝達マニュアルを見直す。	H29年度から順次実施	②実施中
		⑤参加市町村による広域避難計画の策定及び支援(緊13)	F, G	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援		H28年度から順次実施	②実施中	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	①実施済				・隣接市町村と協議し、検討する。	必要があれば検討	②実施中	・参加市・町で連携し広域避難に関する検討を行う。	H28年度から順次実施	②実施中
																避難方法の検討を踏まえ、今後必要に応じて協議を実施	必要があれば検討		検討中	引き続き実施	

項目	事項	減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			射水市				
		カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗		
	⑥	広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知(緊18)	E,F,G,H	H28年度から順次実施	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から実施	①実施済	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	①実施済	「危険度分布」にハザードマップを重ね合わせ	順次実施	②実施中	洪水ハザードマップの更新を行う	富山県の浸水想定区域の策定を受けて策定	②実施中	・洪水ハザードマップの見直しを検討する。	H29年度から順次実施	②実施中		
						【H30.8.28】洪水ハザードマップに関する説明会を開催	引き続き実施	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表【H30.8.17】いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	引き続き実施	【R1.12.24】「危険度分布」にハザードマップを重ね合わせを開始。	引き続き実施	(・想定し得る最大の降雨による洪水浸水を反映した洪水ハザードマップ作成し、R2年6月配布予定)	引き続き実施	【H31年度】ハザードマップの見直し(R2.3完成予定)	引き続き実施							
	⑦	水位予測の検討及び精度の向上	D	H28年度から検討	・水位予測の精度向上の検討・システム改良	・水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。	引き続き実施	②実施中														
						・引き続き精度向上について検討	引き続き実施															
	⑧	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	L	H29年度から実施	・新しい防災気象情報を気象庁HPで提供								「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供 ・洪水警報の危険度分布の提供	H29年度	①実施済							
										【H29.5.17】「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供を開始。 【H29.7.4】「危険度分布」の提供を開始。 【R1.12.24】「危険度分布」にリスク情報を重ね合わせを開始。	引き続き実施											
	⑨	水位周知河川以外の河川における水害危険性の周知促進(緊5)	C	令和2年度から検討	【都道府県管理河川】 ・2021年度を目標に、市町村の役場等に係る河川の内、現在、未指定の約1,000河川において簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供(水害危険性の周知)。(既に水位周知河川等に指定されている約1,500河川とあわせ約2,500河川で水害危険性を周知。) ・毎年、協議会等の場を活用して、水害危険性の周知の実施状況を確認。				水位周知河川以外の河川における必要性について検討	今後検討	③未実施											
	⑩	住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報の共有(緊6)	L1	令和2年度から順次実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・水害・土砂災害関連の記者発表内容や情報提供サイト等について、内容や用語が分かりやすいか、また、放送で使いやすいか等の観点から、情報発信者である行政関係者と情報伝達者であるマスメディアが連携して点検会議を開催し、用語や表現内容を改善。	・メディア説明会を開催 R2～	②実施中	【点検会議等への参画について検討】	【R2～】	②実施中	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	③未実施									
					・防災情報の提供に関するメディア説明会を開催 (R2.7予定)					検討中	検討中											
⑪	洪水予測や河川水位の状況に関する解説(緊8)	L, L1	順次実施	【国管理河川】 ・出水時に、国土交通省職員等普段現場で災害対応に当たっている専門家がリアルタイムの状況をテレビやラジオ等のメディアで解説し、状況の切迫性を直接住民に周知。	・気象台との合同会見 ※地整と事務所との役割分担、事務所と気象台での合同会見実施の有無等について調整が必要	今後検討																
⑫	防災施設の機能に関する情報提供の充実(緊9)	L1	令和元年度から順次実施	【都道府県管理河川】 ・道府県管理ダム435のうち、洪水時の操作に関するわかりやすい情報提供が必要なダムは、関係機関と調整し、調整が整ったダムから順次実施。				洪水時の操作に関するわかりやすい情報提供の実施	R1～	①実施済	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	②実施中									
								全ダムで通知の内容を見直し	R1	検討中	検討中											
⑬	ダム放流情報を活用した避難体系の確立(緊10)	L2	令和元年度から順次実施	【都道府県管理河川】 ・道府県管理435ダムのうち、避難行動に繋がるダムの放流情報の内容や通知タイミングの改善、河川水位情報等の活用などが必要なダムは、河川管理者と共同で実施。				ダムの放流情報の内容や通知タイミングの改善について検討	R1～	②実施中	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	②実施中									
								検討中	R1	検討中	検討中											

項目	事項	減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			射水市		
		カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗
		⑭浸水実績等の周知(緊17)	C	令和2年度から順次実施	【都道府県管理河川】 ・毎年、協議会等の場において、毎年、年度末等の状況を確認・共有。				(必要に応じて全国取組事例を市町村へ提供)	(R2~)	③未実施				浸水履歴の周知	引き続き実施	①実施済	(・浸水実績等を市民に広く周知する)	(R2.5)	②実施中
		⑮市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実(緊34)	M	引き続き順次実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・引き続き、協議会等の場において、浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制・方法について検討。				・市町村における各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制に関する検討の支援	今後検討	③未実施				窓口における浸水履歴の閲覧を実施	引き続き実施		(・新たな洪水ハザードマップに過去の災害実績を記載し、広く市民に周知を図る)	(R2.5市内全戸に配布予定)	
															市職員へのメール配信システムの導入	H30年度	①実施済	・新たな洪水ハザードマップに過去の災害実績を記載し、広く市民に周知を図る。	引き続き実施	①実施済
															メール配信(H30)	H30年度		・先進事例の情報収集を行う	引き続き実施	

2. ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																				
①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	P	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町と共同で情報伝達訓練を実施する。	引き続き毎年実施	①実施済	・情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	①実施済	・情報伝達訓練等への支援	引き続き毎年実施	①実施済	国・県と連携した、情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	①実施済	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き毎年実施	①実施済			
			・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町と共同で情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施		【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【H31.4.26】洪水対応演習を実施 【R1.5.18】総合水防演習を実施 【R1.6.6】水防連絡会総会で確認	引き続き毎年実施		【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.25】水防連絡会にて確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H30.6.22】礪川水防情報伝達訓練を実施 【R1.6.6】水防連絡会にて確認 【R1.7.24】礪川水防情報伝達訓練を実施	引き続き毎年実施		【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】【H30.4.20】 【H31.4.26】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施		【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加 【H30.4.25】水防連絡会にて連絡体制を確認 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【H31.4.26】洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加	引き続き毎年実施		【H28.4.21】【H29.4.27】 【H30.4.25】【R1.6.6】 水防連絡会に出席し確認した。	引き続き毎年実施	
②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所での合同巡視の実施(緊30)	N,O,P	引き続き毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	①実施済	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	①実施済	・共同で参加し、重要危険箇所等把握に努め意識共有を計りソフト面では早めの避難行動、水防に役立てる。	引き続き毎年実施	①実施済	・重要水防箇所について、国、県と共同で毎年実施	引き続き毎年実施	①実施済	・河川管理者と水防関係機関で行われる、重要水防箇所等の合同巡視に参加する。	引き続き毎年実施	①実施済			
			【H28.6.8】合同巡視を実施 【H29.5.31】合同巡視を実施 【H30.6.6】合同巡視を実施 【R1.6.12】合同巡視を実施 【R2.6.4】合同巡視を実施	引き続き毎年実施		【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H30.6.6】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施		【H29.5.31】【H30.6.6】 【R1.6.12】合同巡視時に参加し、共同点検を実施	引き続き毎年実施		【H28.6.8】合同巡視を実施 【H29.5.31】合同巡視を実施 【H30.6.6】合同巡視を実施 【R1.6.12】合同巡視を実施	引き続き毎年実施		【H28.6.8】合同巡視を実施 【H29.5.31】合同巡視を実施 【H30.6.6】合同巡視を実施 【R1.6.12】合同巡視を実施	引き続き毎年実施				
③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施(緊32)	R,S	引き続き毎年実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き毎年実施	①実施済	・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き毎年実施	①実施済	要請による訓練への支援	引き続き毎年実施	①実施済	・水防団、国、県、自主防災組織などが参加し、出水期前に水防訓練の実施	引き続き毎年実施	①実施済	・出水期前にポンプ車の運転訓練を実施し、防災訓練で水防実働訓練を検討する。	引き続き毎年実施	①実施済			
			【H28.5.18】水防連絡会主催の水防工法研修会を実施 【H29.5.19】水防連絡会主催の水防工法研修会を実施 【H30.5.18】水防連絡会主催の水防工法研修会を実施 【H30.5.26】富山市主催の水防訓練へ参加	引き続き毎年実施		【H28.5.28】富山市主催の水防訓練へ参加 【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加 【H29年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.5.26】富山市主催の水防訓練へ参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加 【R1.5.25】富山市主催の水防訓練へ参加 【R1.10.11、11.14、12.10】水防技術講習会に参加	引き続き毎年実施		【H29.9.30】富山県総合防災訓練 【H30.9.29】富山市防災訓練に参加	引き続き毎年実施		【H28.5.18】常願寺川右岸において、水防工法研修会に参加 【H28.5.28】神通川右岸において、水防訓練を実施 【H29.5.19】常願寺川右岸において、水防工法研修会に参加 【H29.5.27】常願寺川右岸において、水防訓練を実施 【H30.5.18】常願寺川右岸において、水防工法研修会に参加 【H30.5.26】神通川右岸において、水防訓練を実施 【R1.5.25】常願寺川左岸において、水防訓練を実施	引き続き毎年実施		【H28.6.10】【H29.6.20】 【R1.6.21】射水市の排水ポンプ車運転講習会を行った。 【H28.9.30】【H28.10.21】 【H29.9.29】【H29.10.13】 【R1.10.11】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。 【R1.5.18】庄川・小矢部川総合水防演習に参加	引き続き毎年実施				

項目	事項	減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			射水市		
		カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗
		④水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進(緊31)	Q,S	引き続き実施	・水防団員の募集促進										・水防団員を兼ねる、消防団員について、HP掲載や、ポスター掲示、自治振興会長会議への依頼により、募集促進	H29年度から検討	①実施済	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き実施	①実施済
															HP掲載、ポスター掲示の実施	引き続き実施		ホームページ等で消防団員の募集を行っている。	引き続き実施	
		⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	R	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加 【H28.9-11】第4回～第6回水防技術基礎講座に参加 【H29.9-10】第1回～第3回水防技術基礎講座に参加 【H30.9-11】第4回～第6回水防技術基礎講座に参加	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	・水防技術講習会に参加 【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H29年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加 【R1.10.11,11.14,12.10】水防技術講習会に参加	引き続き実施 引き続き実施	①実施済				・水防技術講習会に参加 参加を検討	引き続き実施 引き続き実施	③未実施	・水防技術講習会に参加 【H28.9.30】【H28.10.21】 【H29.9.29】【H29.10.13】 【R1.10.11】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き実施 引き続き実施	①実施済
		⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	T	H28年度から検討	・復旧活動の拠点等配置計画の検討	・復旧活動の拠点等配置計画の検討	H28年度から検討 引き続き実施	②実施中	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表【H30.8.17】いち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	H28年度から順次実施 引き続き実施	①実施済									
		⑦ダム等の洪水調節機能の向上・確保(緊46)	X	令和2年度から順次実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、人命を守るため、ダムの洪水調節機能を維持・確保するための緊急的・集中的な対策が必要な箇所において、緊急的・集中的に対策を実施し概成。 ・「ダム再生ビジョン」及び「ダム再生ガイドライン」を踏まえ、既設ダムのかさ上げや放流能力の増強等の施設改良によるダム再生事業をはじめ、ダム再生の取組をより一層推進。 【国管理河川】 ・「ダムの柔軟な運用」の更なる運用に向けて、国及び水機構管理123ダムで関係機関等と調整や検討を引き続き行い、調整が整ったダムから順次運用を開始。 ・水系ごとの治水上・利水上の課題の検討や、ダムの施設改良の候補箇所の全国的な調査、具体的な箇所でのダム施設改良の実施に向けた諸元等の検討を行うなど、施設改良によるダム再生を推進する調査を推進。 ・ダムの洪水調節機能を十分に発揮させるため、流下能力の不足によりダムからの放流の制約となっている区間の河川改修を推進。	(・洪水調節機能強化に関する治水協定) (R2.5.29締結) (○協定対象ダム数:21基) (R2.5.29締結) ○協定者 ・富山河川国道(河川管理者) ・富山県(河川管理者、補助ダム管理者、利水ダム管理者、ダム参画利水者) ・岐阜県(河川管理者、補助ダム管理者) ・富山市、高山市、中部電力(株)、日本海発電(株)(ダム参画利水者) ・北陸電力(株)、関西電力(株)、富山共同自家発電(株)(利水ダム管理者) ※今後、実施要領、連絡体制、行程表等について調整を進める。	②実施中	洪水調節機能を維持・確保するための浸漬等の実施 ※実績は精査中	引き続き実施 引き続き実施	②実施中	関係機関と連携して効果的な対応に協力 検討中	順次実施 検討中	③未実施							
		⑧河川管理の高度化(緊49)	N, O, P	令和2年度から順次実施	【国管理河川】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2018年度までに、開発したドローンを配備。 【都道府県河川】 ・開発したドローンについて国から都道府県へ情報提供。	・ドローンの事務所配備 R2.3 ○ドローン2台(市販品)を事務所配備 ※操作職員の養成が課題 ※ドローン担当窓口:防災課 R2.3	①実施済	河川管理におけるドローン活用 の検討	今後検討	③未実施										

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			射水市				
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗			
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																				
		⑨要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施(緊14)	M	H28年度から順次実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う。 【H29.4.9-11】要配慮者利用施設への説明会の実施 【H30.8.28】洪水ハザードマップに関する説明会を開催	引き続き実施	②実施中	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 ・出前講座や説明会の開催	H28年度から順次実施	②実施中	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の支援	引き続き実施	②実施中	・避難確保計画作成に向けた周知啓発	H29年度から検討	②実施中	・要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。	H28年度から順次実施	②実施中
		⑩大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	K	H28年度から実施	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う。 市町村の要請に基づき、技術的な支援を行う。	引き続き実施	②実施中	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表 【H30.8.17】いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	H28年度から順次実施	①実施済	・ハザードマップによる浸水リスクの周知	H29年度から検討	③未実施	ハザードマップ作成後、HPIにて公開し、リスクについて周知する	H31年度以降				
		⑪早期復興を支援する事前の準備(民間企業BCP策定支援)(緊36)	K	順次検討	【国・都道府県管理河川共通】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、堤防決壊が発生した場合に浸水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる恐れのある区間において、堤防強化対策等を概成。 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消。 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、近年、浸水実績があり、病院、市役所など生命や防災上重要な施設の浸水が想定される約200地方公共団体及び約100河川において、近年の主要降雨等による重要施設の浸水被害を防止軽減するため、雨水排水施設の整備や河川改修等の対策を概ね完了。 ・民間企業による水害対応版BCP策定を促進するため「水害対応版BCP策定の手引き(仮)」を作成・公表。等	・民間企業の水害対応版BCP策定に対する支援として必要な河川情報の提供	検討中	③未実施	・氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木伐採・河道掘削を推進 ・堤防決壊が発生した場合に浸水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる恐れのある区間において、堤防強化対策等を推進	時期を記載	②実施中	(国のガイドラインをホームページにて周知する)	(R2年度以降)	②実施中	・民間企業版BCPの策定支援のための方策を検討する	引き続き実施				
						・樹木伐採・河道掘削 熊野川:河道掘削L=m ・堤防強化等 山田川:調査設計 ※実績は精査中	H30~ R1~					(今後検討)	(R2年度以降)		・先進事例の情報収集を行う	引き続き実施				

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			射水市				
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗			
2. ソフト対策の主な取組 ④社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化																				
■救援・救助活動の効率化に関する取組																				
		①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	G,U	H28年度から検討	・広域支援拠点等の検討支援	・広域支援拠点等の検討支援 検討中	H28年度から検討 引き続き実施	②実施中	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表【H30.8.17】いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	H28年度から順次実施 引き続き実施	①実施済				・河川管理者などから情報提供を受けて、関係機関との協議を行い、計画策定 検討中 ハザードマップにおいて広域避難計画を未策定	H29年度から検討 引き続き実施	②実施中	・新たな浸水想定に基づき現行の地域防災計画等の見直しを検討する。 検討中 ハザードマップにおいて広域避難計画を未策定	H28年度から検討 引き続き実施	②実施中
■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																				
		①氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成	U,V	H28年度から検討	・排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	・氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成 【H29年度】排水ポンプ車の適切な配置計画及び排水シミュレーション検討を実施	H28年度から検討 引き続き実施	②実施中	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討 検討中	今後検討 引き続き実施	②実施中				・樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討 排水ポンプ車配置計画作成済	H29年度から検討 H30年度	①実施済	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。 検討中	H28年度から検討 引き続き実施	②実施中
		②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	V	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備、情報共有	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備、情報共有をを図る。 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【H31.4.26】洪水対応演習を実施 【R1.5.18】総合水防演習を実施 【R1.6.6】水防連絡会総会で確認	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	①実施済	・連絡体制の確認 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.25】水防連絡会にて確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H30.6.22】礪川水防情報伝達訓練を実施 【R1.6.6】水防連絡会にて確認 【R1.7.24】礪川水防情報伝達訓練を実施	引き続き実施 引き続き実施	①実施済			・出水期前に国・県など関係機関と連絡体制の情報共有を図る。 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H30.4.25】水防連絡会にて連絡体制を確認(国) 【H30.6.22】礪川水防情報伝達訓練を実施・連絡体制作成(市) 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【H31.4.26】洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加 【R1.6.6】水防連絡会総会で確認 【H1.7.24】礪川水防情報伝達訓練を実施 国土交通省と災害ホットライン連絡体制を確立	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行う。 【H28.4.21】【H29.4.27】 【H30.4.25】 【R1.6.6】水防連絡会 で連絡体制の整備、情報の共有化を実施 国土交通省と災害ホットライン連絡体制を確立	引き続き毎年実施 引き続き実施	①実施済	
		③関係機関が連携した排水実働訓練の実施	Y	順次実施	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加 【H29.4.21】定期訓練の実施 【H29.5.29】定期訓練の実施 【H29.6.29】富山市と現地で合同点検を実施 【H30.4.26】定期訓練の実施 【H30.5.24】実働訓練の実施 【H30.5.26】富山市主催の水防訓練へ参加 【R2年度】富山市主催の水防訓練へ参加	H28年度から実施 引き続き実施	①実施済	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加 【H28.5.28】富山市主催の水防訓練(場所:富山市磯部町二丁目地先 神通川右岸 富山大橋上流)へ参加 【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加 【H29年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.5.26】富山市主催の水防訓練へ参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加 【R1.5.25】富山市主催の水防訓練へ参加 【R1.10.11、11.14、12.10】水防技術講習会に参加	順次実施 引き続き実施	①実施済			・水防訓練の実施 【H28.5.28】神通川右岸にて水防訓練を実施 【H29.7.28】富山防災センターにて排水作業訓練を実施 【H29.5.27】常願寺川右岸にて水防訓練を実施 【H30.7.25】富山防災センターにて排水作業訓練を実施 【H30.5.26】神通川右岸にて水防訓練を実施 【R1.5.25】常願寺川左岸において、水防訓練を実施 【R1.6.28】富山防災センターにて排水作業訓練を実施	引き続き実施 引き続き実施	①実施済	・河川管理者が行う操作訓練に参加 【H28.9.30】【H28.10.21】 【H29.9.29】【H29.10.13】 【R1.10.11】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	順次実施 引き続き実施	①実施済	

Main table with columns for project items (項目), content (内容), and progress (進捗) across various municipalities like 北陸地整, 富山県, 富山地方気象台, etc.

2. ソフト対策の主な取組 ①急流河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組

Table detailing software measures for flood understanding, including sub-sections like ①小中学校等における水災害及び土砂災害教育の実施, ②出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催, and ③効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布.

Main table with columns for disaster response items (減災のための取組項目) and implementation status across various municipalities like 北陸地整, 富山県, 富山地方気象台, etc.

2. ソフト対策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行動のための取組

Table detailing software measures for evacuation, including information transmission and evacuation planning across various municipalities.

Main table with columns for project items (項目), content (内容), and progress status (進捗) across various municipalities and organizations like 北陸地整, 富山県, 富山地方気象台, etc.

2. ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組

Detailed table for water defense activities (水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組) with multiple columns for implementation details, dates, and status.

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			富山市			高岡市			射水市			福井市			小矢部市			南砺市					
項目	内容	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗					
2. ソフト対策の主な取組 ④社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化																																	
■救援・救助活動の効率化に関する取組																																	
①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	GU	H28年度から検討	広域支援拠点等の検討支援	・広域支援拠点等の検討支援 検討中	H28年度から検討	②実施中	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表【R1.6.14】和田川	H28年度から順次実施	①実施済					・受援計画を策定し、広域支援拠点等の配置等を検討する。 ・「高山」水害時の計画であるか確認 【R1.6.14】和田川	H28年度から検討	①実施済	・新たな浸水想定に基づき現行の地域防災計画等の見直しを検討する。	H28年度から検討	②実施中	・広域支援拠点等の配置計画を検討	H28年度から検討	②実施中	・新たな浸水想定に基づき現行の地域防災計画等の見直しを検討する。	H28年度から検討	②実施中	・広域支援拠点等の配置計画の検討	H28年度から検討	②実施中					
■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																																	
①大規模水害を想定した庄川排水計画(案)の検討を実施	UV	H28年度から検討	排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	・樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討 【H29年度】排水ポンプ車の適切な配置計画及び排水シミュレーション検討を実施 【H29.7.31】国、県、自治体と合同で排水ポンプ車設置箇所の現地確認 【R1.7】国、県、自治体と合同で排水ポンプ車設置箇所の現地確認	H28年度から検討	①実施済	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討 【H29.7.31】国、県、自治体と合同で排水ポンプ車設置箇所の現地確認 【R1.7】国、県、自治体と合同で排水ポンプ車設置箇所の現地確認	今後検討	①実施済					・排水ポンプ車の配置を再検討 状況に応じた配置に努める	H29年度から検討	②実施中	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。 【H29.7.31】国、県、自治体と合同で排水ポンプ車設置箇所の現地確認 【H30.7】7月豪雨のため延期 【R1.7】国、県、自治体と合同で排水ポンプ車設置箇所の現地確認	H28年度から検討	①実施済	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	①実施済	・大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施	H28年度から検討	②実施中	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	②実施中	・大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施	H28年度から検討	②実施中		
②地下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討を実施	V	H28年度から検討	地下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討支援	・地下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討支援 検討中	H28年度から検討	③未実施								・地下街への浸水想定した避難計画及び排水計画(案)の必要性を検討する。 検討中	H28年度から検討	③未実施																	
③排水ポンプ車の出動要請の連絡体制を整備	V	引き続き毎年実施	毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備、情報共有を図る	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備、情報共有を図る 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H29.7.31】高岡市と危険箇所の合同点検を実施 【H29.8.2】射水市と危険箇所の合同点検を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【R1.5.18】総合水防演習を実施 【R1.6.6】水防連絡会総会で確認	引き続き毎年実施	①実施済	・連絡体制の確認 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.20】水防連絡会にて確認	引き続き実施	①実施済	・出水期前に県・市・町など関係機関と連絡体制の情報共有を図る。 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.20】水防連絡会にて確認 【H30.4.25】水防連絡会にて確認 【H30.6.22】畿川水防情報伝達訓練を実施、連絡体制作成(市) 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【R1.5.18】洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加 【R1.6.6】水防連絡会総会で確認 国土交通省と災害ホットライン連絡体制を確立	引き続き実施	①実施済	・整備済みである排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行う。 【H29.5.12】【H30.4.20】【H31.4.26】洪水対応演習を実施 国土交通省と災害ホットライン連絡体制を確立	引き続き毎年実施	①実施済	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行う。 【H28.4.21】【H29.4.27】【H30.4.25】【R1.6.6】水防連絡会にて連絡体制の整備、情報の共有化を実施 国土交通省と災害ホットライン連絡体制を確立	引き続き毎年実施	①実施済	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を実施 国土交通省と災害ホットライン連絡体制を確立	引き続き毎年実施	①実施済	・整備済みである排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行う。 【R1.4】確認済 国土交通省と災害ホットライン連絡体制を確立	引き続き毎年実施	①実施済	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制等を作成する。 国土交通省と災害ホットライン連絡体制を確立	引き続き毎年実施	①実施済	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制等を作成する。 国土交通省と災害ホットライン連絡体制を確立	引き続き毎年実施	①実施済			
④関係機関が連携した排水実働訓練の実施	Y	順次実施	実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加 【H28.4.21】定期訓練の実施 【H28.5.29】実働訓練の実施 【H30.4.28】定期訓練の実施 【H30.5.24】実働訓練の実施 【H30.6.2】高岡市主催の水防訓練への参加	順次実施	①実施済	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加 【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加 【R1.10.11.11.14.12.10】水防技術講習会に参加	順次実施	①実施済	・水防訓練の実施 【H28.5.28】神通川右岸にて水防訓練を実施 【H29.7.25】富山防災センターにて排水作業訓練を実施 【H29.5.27】常願寺川右岸にて水防訓練を実施 【H30.7.25】富山防災センターにて排水作業訓練を実施 【R1.5.25】常願寺川左岸において、水防訓練を実施 【R1.6.28】富山防災センターにて排水作業訓練を実施	引き続き実施	①実施済	・水防訓練と合同で実施する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加する。 【H29.6.3】水防訓練実施(長尾寺地先) 【H30.6.2】庄川左岸河川敷において、水防訓練を実施 【R1.5.18】庄川・小矢部川総合水防演習に参加	順次実施	①実施済	・河川管理者が行う操作訓練に参加 【H28.12.21】富山河川国道事務所の災害対策車両訓練が行われた。 【R1.5.18】庄川・小矢部川総合水防演習に参加	順次実施	①実施済	・水防訓練と合同で訓練を 【H28.12.21】富山河川国道事務所の災害対策車両訓練が行われた。 【R1.5.18】庄川・小矢部川総合水防演習に参加	順次実施	②実施中	・河川管理者が行う操作訓練に参加 【H28.5.18】常願寺川右岸での、水防工法研修会に南砺市消防署へ参加依頼を要請 【R1.5.18】庄川・小矢部川総合水防演習に参加	順次実施	②実施中	・河川管理者が行う操作訓練に参加 【H28.5.18】常願寺川右岸での、水防工法研修会に南砺市消防署へ参加依頼を要請 【R1.5.18】庄川・小矢部川総合水防演習に参加	順次実施	①実施済						

項目	事項	減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			高岡市			射水市			礪波市			小矢部市			南砺市				
		内容	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗		
		⑫洪水予測や水位情報の提供強化(ダム放流警報設備等の耐水化や改良等、水文観測所の停電対策)(緊25)	I	引き続き実施	【国管理河川】 ・水害リスクラインに基づく水位予測及び洪水予報を実施。 ・洪水の最高水位やその到達時間の情報提供など、洪水予報の高度化を推進。 ・国及び水機構管理123ダムのうち、ダム放流警報等の耐水化や改良等が必要な施設については、2020年度までに完了。 【都道府県管理河川】 ・道府県管理435ダムのうち、ダム放流警報等の耐水化や改良等が必要な施設については、関係機関との調整を実施し、調整が整ったダムから順次、対策を実施。 【都道府県管理河川】 ・協議会等の場を活用して、危機管理型水位計配置計画を検討・調整し、順次整備を実施。協議会の場等を活用して、配置状況を確認。(2017年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに約580箇所を設置)	・水位・流量観測所の無停電対策 H30までに実施済	①実施済	・ダム放流警報等の耐水化や改良等を実施 ・危機管理型水位計の設置 ※実績は精査中	H30～ H29～	②実施中																					
		⑬応急的な避難場所の確保(緊28)	F	令和2年度から検討	【国・都道府県管理河川共通】 ・安全な避難場所への避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合の緊急的な避難先を確保する必要がある地域において避難場所の整備。 ・洪水ハザードマップに記載されている民間施設等を活用した緊急的な避難先の事例を収集し、調整内容や協定の締結方法等について協議会の場等を通じて情報提供。			想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表及び市町村における検討を支援	H28から順次実施	②実施中				・避難場所の追加指定(民間施設を含めた指定緊急避難場所の確保)	引き続き実施	①実施済	・水害時の緊急避難場所として、協定を締結し民間施設等を活用する。	引き続き実施	①実施済	・民間施設等を活用した緊急的な避難場所の確保(協定締結)	引き続き実施	①実施済	2階以上の施設を所有している民間企業に、災害時における避難所施設の提供に関する協定の締結を依頼する。	順次実施	②実施中						
		⑭市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)(緊35、緊40)	M	順次実施	【国・都道府県管理河川共通】 ・引き続き、協議会等の場において、浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有。また、耐水化、非常用電源等の必要な対策については各施設管理者において順次実施。対策の実施状況については協議会で共有。 【国管理河川】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2019年度までに全国の災害活動拠点施設となる事務所及び事務所をつなぐ重要な通信中継施設(10地方整備局等)の停電対策、通信機器の整備が不足している事務所へ災害対策用通信機器の増強等を2019年に実施。	・自治体の対応状況を把握して関係者で共有(庁舎・災害拠点病院の機能確保) 検討中	引き続き実施	施設に関する情報を収集し検討	今後検討	②実施中				・庁舎等の耐水化	引き続き実施	①実施済	・災害対策の拠点となる市庁舎等の耐水化を推進	平成28年度	①実施済	今後検討				【非常用発電機の設置について、庁舎の耐水化に併せて実施予定。】	(令和6年度以降)	②実施中					
		⑮重要インフラの機能確保(緊47)	F	引き続き実施	【砂防】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに土砂災害によりインフラ・ライフラインの被災する危険性が高い箇所うち緊急性の高い約320箇所において、インフラ・ライフラインへの著しい被害を防止する砂防堰堤の整備等の対策を概ね完了。			インフラ・ライフラインの被災する危険性が高い箇所において砂防堰堤等の整備を推進	H30～	②実施中																					
		⑯樋門等の施設の確実な運用体制の確保(緊48)	X	順次実施	<樋門や水門等の無動力化・遠隔操作化等の推進> 【国・都道府県管理河川共通】 ・津波浸水リスクの高い地域等において、水門等の自動化・遠隔操作化を順次実施。 【国管理河川】 ・フラップ化等の無動力化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施。 【都道府県管理河川】 ・国と都道府県が参加する技術研究会等において、国の無動力化の取組について情報提供し、都道府県河川における無動力化の推進に資する技術的助言を実施。 <確実な施設の運用体制確保> 【国管理河川】 ・市町村以外で操作委託が可能な団体について検討を実施。	・樋門の無動力化を実施 順次実施	引き続き実施	樋門や水門等の無動力化・遠隔操作化等について検討	今後検討	③未実施																					

2. ソフト対策の主な取組 ①河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組

■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																													
①小中学校等における水災害及び土砂災害教育を実施(緊20)及び地域防災力向上のための人材育成(緊24)	A.B.C	引き続き実施	・出前講座等の活用	・市の要請により、出前講座等を積極的に進めていく。 【H28.12.9】高山工業高校生に講義 【H30.10.16】支援校の小矢部市立東部小学校で出前講座による防災教育を支援	引き続き実施	①実施済	・出前講座等を活用した啓発を積極的に進めていく。 検討中(県管理河川、ダムにおいて小学校等に説明会を開催している。)	引き続き実施	①実施済	・自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援	引き続き実施	①実施済	・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・小中学校等からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。	H29年度から検討	②実施中	・小中学校から要望があった場合、過去に生じた水害状況の写真パネルや資料提供を行う。また、出前講座の申込があれば対応する。 小学校1校に水害状況の写真パネル等を貸し出した。	引き続き実施	①実施済	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・各学校にて継続して実施 ・中・高校生からの要請により開校前調査に協力 【R1.9.1】市総合防災訓練における少年消防クラブと防災士が連携した防災体験、見学コーナーの実施	引き続き実施	①実施済	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。	引き続き実施	②実施中	・小中学校からの依頼があれば、防災教育全般として実施している。 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。	引き続き実施	①実施済		
②出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A.B.C	引き続き実施	・出前講座等の活用	・市の要請により、出前講座等を積極的に進めていく。 検討中	引き続き実施	③未実施済	・出前講座等を活用した啓発を積極的に進めていく。 検討中(県管理河川、ダムにおいて小学校等に説明会を開催している。)	引き続き実施	①実施済	・自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援	引き続き実施	①実施済	・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施した(洪水)【R1年度53件】	要請に応じて順次実施	①実施済	・出前講座の活用を積極的に働きかける。 【H28.4-H31.3】風水害をテーマとした出前講座を3540地区で実施【H31.4-R1.12】出前講座の実施(16回)	引き続き実施	①実施済	・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を実施 【H30.2】16地区で実施 【H31.3】各種団体等48回実施 【R1.12】各種団体等54回実施	引き続き実施	①実施済	・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。	引き続き実施	①実施済	・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座による説明会開催を市民にPR 【H30.10.21】井口婦人防火クラブで出前講座を実施 【R1.9.19】福光中部小学校で出前講座を実施 【R1.11.3】高屋自治会で出前講座を実施	引き続き実施	②実施中		
③効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	A.B.J	順次実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 【H29.6】プッシュ型配信開始チラシの作成及び配布依頼	引き続き実施	②実施中	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成)	順次実施	②実施中	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	②実施中	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。 ・「防災マップ」の改定時に併せて、特集ページを作成する。 ・市広報誌への掲載を検討する。	順次実施	②実施中	・市広報誌面に記事を掲載し市民への啓発を図る。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	順次実施	②実施中	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 【H29.6、H30.6】CATV:風水害時の対策(備蓄・情報収集)に関する啓発 【R2.1】CATV:防災意識啓発	引き続き実施	②実施中	・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。 【R1.6】広報に掲載済	引き続き実施	②実施中	・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。 今後検討	引き続き実施	②実施中		

Main table with columns for project items (項目), content (内容), and progress (進捗) across various municipalities and prefectures. It details disaster prevention measures like flood prevention, hazard mapping, and disaster drills.

2. ソフト対策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行動のための取組

Table detailing software measures for disaster response, including information dissemination, evacuation planning, and emergency communication systems.

Main table with columns for project items (e.g., ①住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報の共有) and implementation details across various departments like 北陸地整, 富山県, 富山地方気象台, etc.

2. ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組

Sub-table titled '水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組' with columns for activity details, implementation status, and responsible entities.

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整			富山県			富山地方気象台			高岡市			射水市			礪波市			小矢部市			南砺市				
項目	事項	内容	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗	実施内容	時期	進捗			
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																													
		⑫要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施(緊14)	M	H28年度から順次実施	要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う。 検討中	引き続き実施	②実施中	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 ・ 出前講座や説明会の開催 【H29.2.22】要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施 【H29.9-11】要配慮者利用施設への説明会の実施 【H30.5.16】施設管理者向け説明会で説明(南砺市) 【H31.2.20】市町村担当者向け説明会を実施 【H31.3.26.27】施設管理者説明会で説明 【R1.5.27】施設管理者向け説明会で説明(南砺市) 【R1.7.3】出前講座等で説明(県精神障害者障害福祉サービス事業所連絡協議会) 【R1.9.5】市町村担当者向け説明会を実施 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表 【H30.8.17】小矢部川、山田川、旅川 【H30.11.21】岸邊川、子無川、洗江川、横江宮川 【H31.3.29】千保川 【R1.6.21】祖父川	H28年度から順次実施	①実施済	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う。 【H29.2-4】要配慮者利用施設管理者への資料作成し、管理者に説明した。	引き続き実施	②実施中	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。 ・地域防災計画の要配慮者施設へさらなる情報伝達ツールを検討する。 ・ 想定最大規模降雨での洪水ハザードマップ公表(R2.3.23)にあわせ、地域防災計画の要配慮者利用施設一覧更新 ・今後、該当施設管理者に対して、計画作成に係る説明会を実施予定(R2年度)	H28年度から順次実施	②実施中	・要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。 【H30.2.9】対象となる施設を所管する担当部署へ計画策定の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼。庁内の推進体制を確認した。 【H30.2.15】対象施設に避難確保計画策定等が義務化されたことを順次通知し、計画作成に必要な知識等についての資料提供を開始	H28年度から順次実施	②実施中	・要配慮者利用施設における避難確保計画策定の推進を行う。 【H30.4.11】計画規模の洪水ハザードマップの対象となる施設を所管する担当部署へ計画策定について説明会を開催 【R1.6.4】H31.3洪水ハザードマップ見直しに伴い対象となる施設を所管する担当部署へ計画策定について説明会を開催 48施設のうち47施設が計画策定済み	H28年度から順次実施	②実施中	・要配慮者施設における避難確保計画策定の推進を行う。 【H30.5.16】説明会更新前のハザードマップでの対象施設すべて計画策定済 【H31.5.27】ハザードマップの更新により追加対象となった22施設に対し説明会を実施した	H28年度から順次実施	②実施中	・浸水想定区域図等の公表を反映させたハザードマップ等を関係各施設に配布する。 【H30.5.16】説明会更新前のハザードマップでの対象施設すべて計画策定済 【H31.5.27】ハザードマップの更新により追加対象となった22施設に対し説明会を実施した	H30実施予定	②実施中
		⑬大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	K	H28年度から順次実施	大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う。 市町村の要請に基づき、技術的な支援を行う。	引き続き実施	②実施中	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 ・ 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表 【H30.8.17】小矢部川、山田川、旅川 【H30.11.21】岸邊川、子無川、洗江川、横江宮川 【H31.3.29】千保川 【R1.6.14】祖父川	H28年度から順次実施	①実施済	・ハザードマップを活用し、大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。 洪水ハザードマップの改定作業に合わせ、検討中	H30.4～	②実施中	・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。 今後検討	H29年度から順次実施	③未実施												
		⑭早期復興を支援する事前の準備(民間企業BCP策定支援)(緊36)	K	順次検討	民間企業の水害対応版BCP策定に対する支援として必要な河川情報の提供	【国・都道府県管理河川共通】 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、堤防決壊が発生した場合に浸水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる恐れのある区間において、堤防強化対策等を概成。 ・2018年の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消。 ・2018の緊急点検を踏まえ、2020年度までに、近年、浸水実績があり、病院、市役所など生命や防災上重要な施設の浸水が想定される約200地方公共団体及び約100河川において、近年の主要降雨等による重要施設の浸水被害を防止軽減するため、雨水排水施設の整備や河川改修等の対策を概ね完了。 ・民間企業による水害対応版BCP策定を促進するため「水害対応版BCP策定の手引き(仮)」を作成・公表。等	検討中	③未実施	・氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木伐採・河道掘削を推進 ・堤防決壊が発生した場合に浸水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる恐れのある区間において、堤防強化対策等を推進 ・樹木伐採・河道掘削 ※実績は精査中 ・堤防強化等 ※実績は精査中	H30～ R1～	②実施中	・住民説明会等にあわせて、民間企業等へも参加を呼びかけ(説明会、避難訓練等) ・市総合防災訓練において、対象地区内の民間企業へも参加を呼びかけた	順次実施	①実施済	・民間企業版BCPの策定支援のための方策を検討する ・先進事例の情報収集を行う	引き続き実施	①実施済	R1.6株式会社データバンクが実施した調査結果において、策定率が15%の低率である。市HPなどを活用し、計画策定の必要性などを情報提供	順次検討	②実施中	手引きが公表されたら、周知。 県や各市町村の動きに準ずる。	順次検討	②実施中						

(様式2-取組概要)

北陸地方整備局

カテゴリ	洪水氾濫を未然に防ぐための対策(洪水を安全に流すためのハード対策)
内容	流下能力対策、侵食・洗掘対策、浸透・パイピング対策
実施主体	富山河川国道事務所

常願寺川、神通川、庄川、小矢部川において、浸透・侵食に対する安全性や流下能力を向上させる「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」を推進している。

- 令和2年3月時点整備延長 (対策不要区間含む)
 - ①常願寺川 1.2 km
 - ②神通川 6.8 km
 - ③庄川 2.8 km
 - ④小矢部川 2.0 km



富山市街地重点防御築堤事業の着手 (神通川)



完成イメージ



起工式 R1.10.25

(様式2-取組概要)

北陸地方整備局・立山町・舟橋村

カテゴリ	小中学校等における水災害教育を実施 ～ 防災・河川環境教育の充実に係る取組 ～
内容	教育委員会等と連携・協力して支援校を決定し、出前講座により防災教育を支援
実施主体	減災対策協議会の事務局および構成市町村

- 「命を守る」という観点に留意し、常願寺川沿川の支援校で水防災に係る出前講座を実施した。
 - 令和元年 9月25日 舟橋村立舟橋小学校 5年生 (33名) 出前講座
 - 令和元年10月30日 立山町立利田小学校 5年生 (40名) 出前講座

【常願寺川で大雨が降るとどうなる】 過去に常願寺川で発生した水害や「いのち」を守るための避難行動について学びました。

【舟橋小学校実施状況】



【利田小学校実施状況】



(様式2-取組概要)

北陸地方整備局

カテゴリ	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ～ 防災・河川環境教育の充実に係る取組 ～
内容	「みんなでタイムラインプロジェクト・とやま」の取組みに合わせ、広報コーナーを新設
実施主体	富山防災センター(北陸技術事務所富山出張所)、富山河川国道事務所、黒部河川事務所

豪雨等により河川の水位が上がってきた場合、各自がとるべき防災行動を時系列で整理し、とりまとめる「マイ・タイムライン」を多くの県民に知ってもらうことを目的とした、『みんなでタイムラインプロジェクト・とやま』の取組みを、令和2年4月より始動。

北陸技術事務所・富山出張所にだれでも利用できる学習コーナーを新設し、教材を使った「マイ・タイムライン」作成や、住んでいる場所が水害に見舞われたときの水深を調べる、などの体験ができる。

【取組み概要】

- 場所：富山防災センター(北陸技術事務所富山出張所・防災ナビルーム)
- 内容：①富山県内全15市町村の最新の洪水等ハザードマップを展示、自由に閲覧が可能
②教材「逃げキッド」を使った、マイ・タイムラインの作成体験 (※要 事前予約)



ハザードマップ展示コーナー



市町村ハザードマップ展示状況

(様式2-取組概要)

北陸地整・富山地方気象台・富山県・市町村

カテゴリ	各関係機関が参画した「庄川・小矢部川タイムライン検討会」における急流河川の特性を踏まえた大規模水害時のタイムライン(事前防災計画)の策定と検証及び改善
内容	各関係機関が参画した庄川・小矢部川タイムラインの策定
実施主体	富山河川国道事務所、富山県、富山地方気象台、富山市、高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市 他

庄川・小矢部川タイムライン検討専門部会を開催し、検討に着手している。

【詳細】

- 日時：第4回 平成31年 3月27日(水) 10:30~12:00 福岡防災センター2F会議室
第5回 令和元年12月12日(木) 13:30~16:00 高岡市伏木コミュニティセンター3F会議室
- 参加者：富山河川国道事務所、富山県、富山地方気象台、富山市、高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市ほか、計27機関が参加
- 内容：①タイムライン検討に向けた防災行動の検討
②タイムライン素案の防災行動の検討
③計画規模及び想定最大規模タイムライン(案)の意見照会 ほか



第4回(平成31年 3月27日)



第5回(令和元年12月12日)

(様式2-取組概要)

北陸地方整備局

カテゴリ	広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知
内容	洪水ハザードマップ・マイタイムラインに関する説明会の開催
実施主体	富山河川国道事務所・小矢部市

近年各地で甚大な洪水被害が発生していることから、住民に洪水ハザードマップを周知徹底を図るため、イベント会場の特設ブースで洪水ハザードマップ及びマイタイムラインに関する説明を一般の方を対象に実施した。

- ・日時：令和元年 8月24日(土)～25日(日)
- ・場所：クロスランドおやべ
- ・内容：(1)洪水ハザードマップに関する説明
(2)マイタイムラインの活用について
(3)意見交換
- ・参加者：100名にマイタイムラインシートを配布



小矢部市 洪水ハザードマップの説明状況

配布した「マイタイムライン」

(様式2-取組概要)

北陸地整・富山地方气象台・富山県・市町村

カテゴリ	自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施
内容	重要水防箇所等の共同点検を実施
実施主体	富山河川国道事務所水防連絡会

常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川において、関係水防機関や電力・鉄道会社、災害協定業者、地元住民の方々と合同で、洪水時に危険となる箇所や緊急資材倉庫の備蓄状況の確認を行い、水防活動に万全を期することを目的に行っている。

【詳細】

- ・日時：令和元年 6月12日(水) 9:00～11:30 常願寺川
13:00～16:00 神通川
- 令和元年 6月13日(木) 9:00～11:40 庄川
13:00～16:35 小矢部川
- ・内容：重要水防箇所や緊急資材倉庫など4河川で計25箇所の巡視を実施
- ・参加人数：常願寺川45名、神通川44名、庄川54名 小矢部川50名



6/12AM 常願寺川 45名参加 (富山市朝日地先) 6/12PM 神通川 44名参加 (富山市青島地先) 6/13AM 庄川 54名参加 (高岡市戸出徳一地先) 6/13PM 小矢部川 50名参加 (高岡市荒屋敷地先 第1号緊急資材倉庫)

(様式2-取組概要)

北陸地整・富山県・市町村

カテゴリ	国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施
内容	水防技術講習会に参加
実施主体	国土交通省北陸地方整備局

水防技術に関する専門技術の習得と組織の中核となって習得した技術を普及する職員の育成を目的に“水防技術基礎講座(第1回～第3回)”に参加した。

【詳細】

※カリキュラムは2年間で6講座

- ・開催日：(第1回)令和元年10月11日(金)、(第3回)令和元年11月14日(木)、(第3回)令和元年12月10日(火)
- ・場所：福岡防災センター及び小矢部川左岸19.6km付近
- ・内容：①縄結び ②月の輪工 ③シート張工 ④積み土のう工 ⑤木流し工 等
- ・参加機関：北陸地整、富山県、高岡市、砺波市、小矢部市 等
- ・6講座を受講された人は「水防技術伝え人」に登録



シート張工



積み土のう工



「水防技術伝え人」登録

(様式2-取組概要)

北陸地方整備局

カテゴリ	氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報提供、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成
内容	排水ポンプ車の適切な配置計画などを定める排水作業準備計画を検討
実施主体	富山河川国道事務所

想定最大規模を対象とし、大規模氾濫減災協議会の取組方針並びに緊急行動計画に基づき、長期間にわたり浸水が継続する地域などにおいて、排水計画を作成に係る、排水作業の準備計画に関する検討を進めている。

【詳細】

- ・実施河川：常願寺川
- ・検討内容：想定破堤点破堤時における河道水位・浸水状況変化の把握
排水シミュレーション結果を踏まえた排水手順・配置計画の検討



排水ポンプ車配置イメージ図

(様式2-取組概要)

北陸地方整備局

カテゴリ	関係機関が連携した排水実動訓練の実施
内容	内水氾濫危険箇所合同調査
実施主体	富山河川国道事務所、自治体、富山県

大雨による内水氾濫被害の軽減のため、これまで管内で発生した内水浸水被害実績箇所を国土交通省職員・排水ポンプ車（地域対応3台、広域対応4台）の出動要請者となる市職員、維持管理業者、専門防災エキスパートが合同で事前調査を実施した。

【詳細】

- 事務所所有の排水ポンプ車、照明車を使って定期訓練の実施
 - 実施日：令和元年7月10日（水） 庄川・小矢部川（射水市・高岡市）
 - 実施日：令和元年7月12日（金） 神通川（富山市）
 - 実施日：令和元年7月16日（水） 小矢部川（小矢部市）



支川から本川への排水箇所



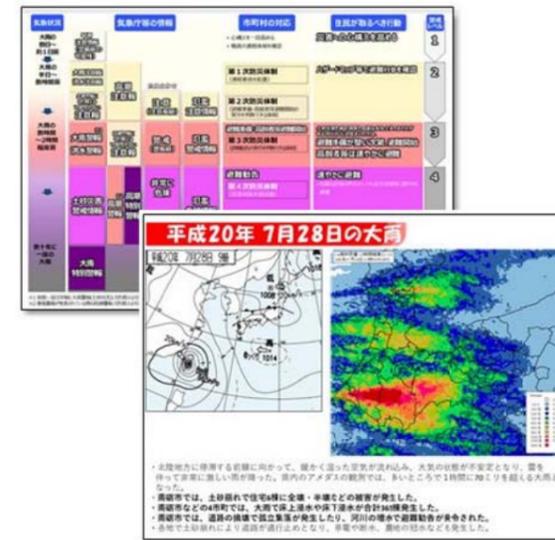
ポンプ設置の窯場

(様式2-取組概要)

富山地方気象台・富山県

カテゴリ	出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催
内容	出前講座等の活用
実施主体	富山地方気象台

- 水防災に係る出前講座を3回行った。
- 自治体等防災関係機関や地域住民への防災気象情報の普及、災害に対する防災意識の啓発を目的に、富山県との共催で防災気象講演会を11月15日に行った。



※出前講座の資料より抜粋

令和元年度 防災気象講演会
「風水害に対する地域での取り組みについて」
入場無料
日時 11月15日（金）13:30～16:30
会場 富山県農協会館 8階 ホール
住所：富山市新緑曲線2番21号

講演 13:45～14:45 常盤 英氏
講演 15:00～16:30 阪本 真由美氏

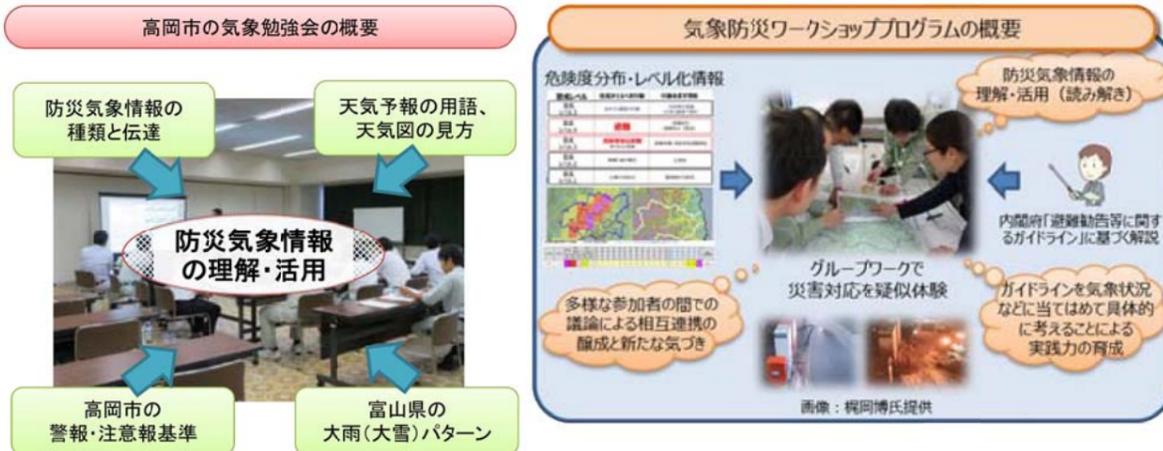
防災気象講演会の様子

(様式2-取組概要)

富山地方気象台・富山市・高岡市

カテゴリ	情報伝達、避難計画等に関する事項
内容	避難勧告等の発令に着目した防災行動計画（タイムライン）の整備及び検証と改善
実施主体	富山地方気象台

- 10月8日 高岡市の防災担当者と防災気象情報の理解を深めるために気象勉強会及び意見交換を実施した。
- 11月22日 富山市の防災担当者向けに気象防災ワークショップ（風水害編）を実施した。



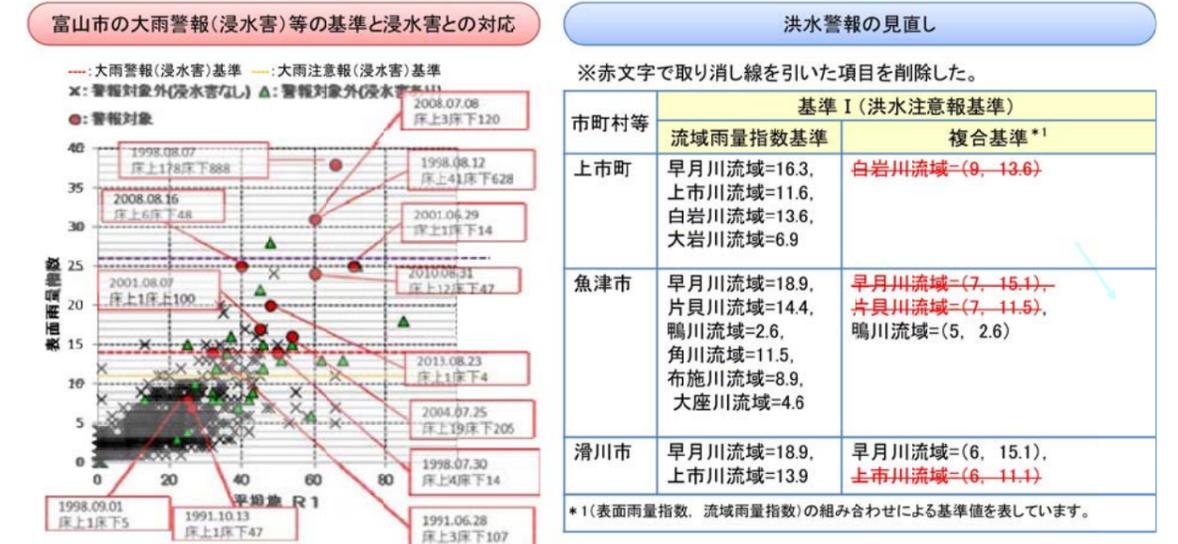
写真：高岡市での気象勉強会及び意見交換の様子

(様式2-取組概要)

富山地方気象台

カテゴリ	情報伝達、避難計画等に関する取組（新しい防災気象情報を気象庁HPで提供）
内容	防災気象情報の改善
実施主体	富山地方気象台

大雨警報（浸水害）と洪水警報の基準について、「過去の災害を整理」、「大雨警報（浸水害）の危険度を求めるプログラムのパラメータの見直し」を行った。この結果、各市町村の大雨警報（浸水害）等の基準の変更はなかったが、洪水警報の基準の変更を5月29日に行った。



(様式2-取組概要)

富山地方気象台

カテゴリ	情報伝達、避難計画等に関する取組(新しい防災気象情報を気象庁HPで提供)
内容	防災気象情報の改善
実施主体	富山地方気象台

12月24日 リアルタイムの大雨の危険度と併せ、自分が住んでいる場所の危険性も同時に確認できるように、「危険度分布」とリスク情報を重ね合わせて表示できるように改善した。

洪水警報の危険度分布の表示例



大雨警報(土砂災害)の危険度分布の表示例



(様式2-取組概要)

富山市

カテゴリ	富山市職員向け気象防災ワークショップ
内容	防災気象情報に関する研修、災害対応グループワーク
実施主体	富山市

富山市職員が現在整備されている防災気象情報の種類や意味を理解し、避難勧告等の発令に関する検討・判断や、避難すべき住民に適切かつ確実な避難行動を促すための能力を身につけることを目的とし、富山地方気象台の協力を得て、気象防災ワークショップ(風水害編)を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：令和元年11月22日(金) 13:30~15:30
- ・参加者：富山市職員30名、富山地方気象台職員7名
- ・内 容：①防災気象情報に関する研修
②災害対応グループワーク
③講評



防災気象情報に関する研修



災害対応グループワーク

(様式2-取組概要)

富山市

カテゴリ	令和元年度富山市水防訓練
内容	川倉工・シート張工等の水防工法、人命救助訓練、住民広報訓練等を実施
実施主体	富山市

地域住民の生命、身体、財産を水害から守るため、関係機関相互の協力体制強化と水防工法技術等の錬磨を図ることを目的に、水防訓練を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：令和元年5月25日(土) 8:00~9:00
- ・参加者：富山市、富山市消防局、富山河川国道事務所、富山土木センター、自主防災組織等
- ・内 容：①水防工法
②人命救助訓練(救命ボートによる救助)
③自主防災組織による改良積み土のう工法
④排水ポンプ車による内水排除訓練
⑤住民広報訓練
⑥災害対策車両等展示
⑦非常食配給



川倉工法



築堰し工法



人命救助訓練

(様式2-取組概要)

富山市

カテゴリ	富山市排水ポンプ車運転作業訓練を実施
内容	富山市が所有する排水ポンプ車の作業手順等を確認
実施主体	富山市

富山市が所有する排水ポンプ車の迅速かつ適正な運用を図るため、排水業務委託先の排水ポンプ車の実働経験が少ない作業従事者を対象に、作業手順を確認する実働訓練を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：令和元年6月28日(金) 14:00~16:00
- ・参加者：富山市、富山市建設業協会 会員44社66名
- ・内 容：①排水ポンプ車設置場所等の講習
②排水ポンプ車運転作業手順の確認
③排水ポンプ車の試運転



設置場所等講習の様子



ポンプとホースの金具接続作業の様子



排水ポンプ車の試運転

(様式2-取組概要)

高岡市

カテゴリ	風水害に備えたマイ・タイムラインの活用促進
内容	マイ・タイムラインを活用した避難行動計画の作成支援
実施主体	高岡市

「いつ」、「誰が」、「なにをするか」に着目し、防災行動を整理したタイムラインは、災害時における地域や個人の行動をチェックするツールとして、大きな減災効果が期待できることから、令和元年6月に“高岡版マイ・タイムライン”を作成し、家庭・地域・学校等におけるマイタイムラインの利用促進に取り組んでいる

○ハザードマップとマイタイムラインを用いて避難行動計画の作成支援に取り組んでいる
○図は1～5のステップを踏みながらマイタイムラインを作成する手順（パワーポイント）

(様式2-取組概要)

高岡市

カテゴリ	毎年度、関係機関が連携した水防訓練を実施
内容	水防工法をはじめとしたタイムラインに基づく実践的な訓練を実施
実施主体	高岡市、富山県、国土交通省北陸地方整備局、富山河川国道事務所水防連絡会

水防技術の向上・伝承及び水防団の士気高揚を図るとともに、幅広い主体の参加による地域社会の防災知識の普及および防災意識の向上、庄川・小矢部川の氾濫特性及び想定最大規模の浸水想定区域を踏まえた、実践的なシナリオによる災害対処能力の更なる向上を図ることを目的とし、総合水防演習を実施しました。

【実施概要】
・日 時：令和元年5月18日(土) 8時30分～11時20分
・参加者：全93団体(協賛、後援、協力、参加機関)



会場の様子 体験コーナー 住民避難訓練

(様式2-取組概要)

砺波市

カテゴリ	平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
内容	砺波市マイ・タイムラインシートの作成
実施主体	砺波市・砺波市防災士連絡協議会

【作成の目的】
台風や大雨等による被害が予想される場合に、あらかじめ住民一人ひとりがとる避難行動を時系列で記載して有事に備える「マイ・タイムラインシート」を新たに作成し、平時からの避難行動に関する意識を高めるとともに、早めの避難開始への取組みを強化する。

【作成者】
砺波市・砺波市防災士連絡協議会
・防災士の意見も取り入れ、行政と市民との協働で作成

【取組みの推進方法等】
・市内全戸に配布
・市ホームページに掲載し、いつでもシートがダウンロードできる。
・市総合防災訓練や行政出前講座等で活用するほか、各地区において実施される防災ワークショップや図上訓練等においても、防災士が講師となり取組みを推進



砺波市マイ・タイムラインシート

(様式2-取組概要)

砺波市

カテゴリ	平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
内容	少年消防クラブと防災士等が連携した防災体験、見学コーナーの実施
実施主体	砺波市

市総合総合防災訓練において、少年消防クラブ員と防災士等が連携し防災体験、見学コーナーを運営し、「見て学ぶ」「教えて学ぶ」体験を通じて防災意識の高揚が図られた。

【実施概要】
日 時：令和元年9月1日(日) 9時から11時まで
場 所：高波公園ほか
内 容：防災〇×クイズ、防災グッズ手作り体験、消火体験、煙中体験、応急手当体験



防災グッズ手作り体験 消火体験

(様式2-取組概要)

砺波市

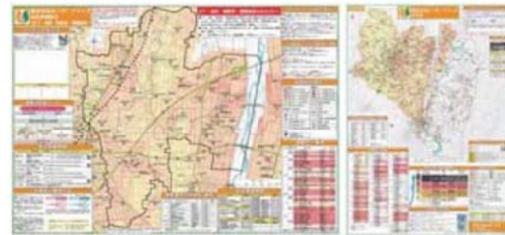
カテゴリ	住民の防災意識を高めるため、洪水ハザードマップの見直し
内容	洪水ハザードマップ見直し・公表
実施主体	砺波市

平成27年度の水防法改正に伴い、国や県が管理する河川について、「計画規模」から「想定し得る最大規模」の降雨に条件を拡大した洪水浸水想定区域図が公表されました。

当市では、洪水時における避難方法などを住民へ適切に周知するとともに、平常時からの防災意識の向上と被害軽減行動を促進すること目的として、平成20年度に作成しました「砺波市洪水ハザードマップ」の見直しを行いました。

【マップの仕様】・構成 両面印刷 表面：各地区版（小学校区） 裏面：市全体図
・サイズ A1版

【周知方法（平成31年4月25日）】・説明会 地区自主防災組織に対し説明会の開催（それ以降、地区単位などの出前講座による説明）
・住民 市広報誌と併せて全戸配布
・公表 市ホームページ



洪水ハザードマップ（左：表面、右：裏面）



説明会の様子

(様式2-取組概要)

砺波市

カテゴリ	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
内容	災害時における機能確保のための対策(庁舎非常用自家発電装置の整備 ※浸水対策)
実施主体	砺波市

【整備の目的】

災害等の非常時に備え、災害対策本部等の設置が想定される、本庁舎への電力供給を目的とした非常用自家発電装置を設置するもの。

なお、ハザードマップの見直し（想定最大規模）に伴い、庁舎への浸水の恐れがあることから、非常用自家発電装置の基礎をかさ上げし、浸水対応を行ったもの。

【発電機仕様】

- ・出力 150KVA 120KW
- ・稼働時間 72時間
- ・燃料 A重油
- ・燃料容量 1,950リットル ※地上型



【浸水対策】

- ・浸水想定が50cm未満となっていることから、基礎高を60cmかさ上げし、発電機を設置

砺波市役所非常用自家発電設備

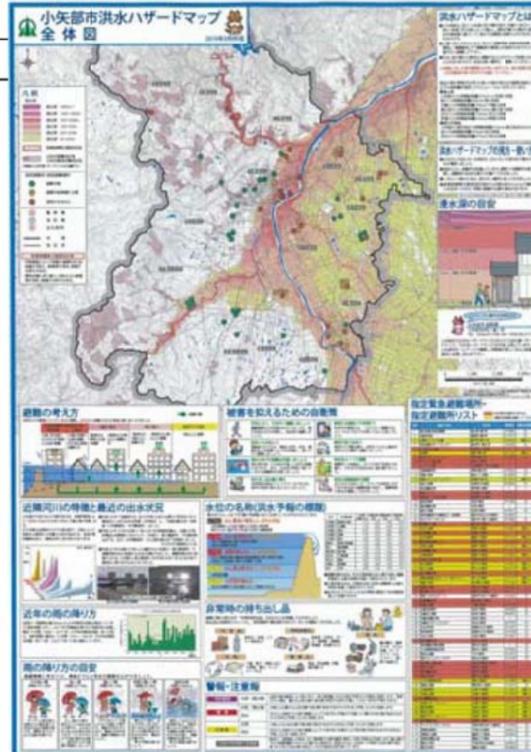
(様式2-取組概要)

小矢部市

カテゴリ	広域的な避難計画等反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知
内容	洪水ハザードマップの見直し・全戸配布
実施主体	小矢部市

平成27年の水防法改正に伴い、国土交通省と富山県は、管理する河川に関して「計画規模」から「想定し得る最大規模」の降雨（約1,000年に一度）に条件を拡大した「洪水浸水想定区域図」を公表しました。

小矢部市では、この「洪水浸水想定区域図」を反映させるため、平成31年3月に洪水ハザードマップの見直しを行い、令和元年6月に全戸配付いたしました。



小矢部市洪水ハザードマップ全体図（2019年3月作成）

(様式2-取組概要)

小矢部市

カテゴリ	出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催
内容	小矢部市防災士連絡協議会によるマイタイムライン講習の実施
実施主体	小矢部市

小矢部市防災士連絡協議会による、洪水ハザードマップを活用したマイタイムラインの作成に関する出前講座を2回開催した。

【詳細】

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1回目 | 2回目 |
| ・日時：令和元年8月4日（日） | ・日時：令和元年11月4日（月） |
| ・参加者：約70名（津沢地区住民及び関係者） | ・参加者：約40名（東部地区住民） |



(様式2-取組概要)

小矢部市

カテゴリ	浸水実績等の周知
内容	小矢部市水防連絡協議会における浸水実績の確認・共有
実施主体	小矢部市

【目的】水防に関する情報を交換し、洪水時における迅速かつ的確な水防活動に資する

【詳細】

- ・毎年6月下旬から7月上旬に開催
- ・小矢部市管内の河川及びダム管理者、水防に関わる団体等と小矢部市が、前年度水害等の被害状況や各団体における水防活動状況等について情報を共有するもの。

(様式2-取組概要)

小矢部市

カテゴリ	毎年、関係機関が連携した水防実施訓練を実施
内容	防災計画等の円滑な運用及び防災思想の普及啓発を図る
実施主体	小矢部市

今年度は、小矢部市内の北蟹谷地区において、関係機関と連携し総合防災訓練を実施しました。当日は、大雨洪水警報発令のなか震度6強の地震を観測、建物倒壊や火災のほか土砂崩れ、河川氾濫の危険性を想定し訓練を実施しました。

【詳細】

- ・日 時：令和元年9月22日（日曜日）午前8時から午前10時まで
- ・参加者：約400人（自治会・地域住民、市職員、防災関係機関、他各種団体・企業）
- ・内 容：①集団避難・孤立集落避難訓練
②水防訓練（土のう積、シート張り工法）等



土のう積



シート張り工法

(様式2-取組概要)

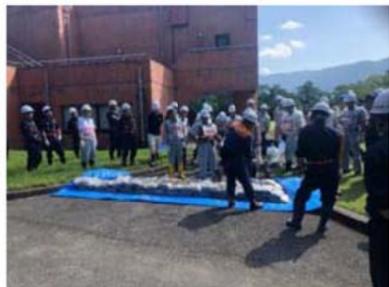
南砺市

カテゴリ	毎年、関係機関が連携した水防実施訓練等を実施
内容	防災思想の普及啓発を図る防災訓練
実施主体	南砺市

南砺市城端地域において、避難所が開設された場合を想定し、関係機関と連携して総合防災訓練を実施しました。

【詳細】

- ・日 時：令和元年8月25日（日曜日）午前8：00～12：00
- ・参加者：地域住民（城端地域）、消防団、消防署、市
- ・内 容：①住民避難活動・誘導訓練
②水防訓練
③避難所運営訓令（応急救護・炊き出しなど）



南砺市菟谷地区 水防訓練（土のう製作）



避難所運営訓練（炊き出し）

(様式2-取組概要)

南砺市

カテゴリ	浸水実績等の周知(緊17)
内容	南砺市内の過去の浸水被害について紹介
実施主体	南砺市

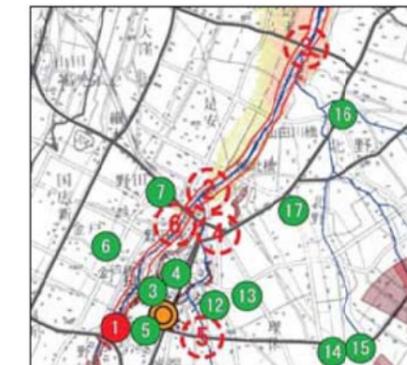
住民の防災意識を高め、避難行動の重要性を周知することを目的として、新たに作成した洪水ハザードマップにて過去の浸水被害の実例を紹介した。

【詳細】

- ・洪水発生の経緯について説明
- ・被害状況について説明
- ・災害写真
- ・地図上で発生個所を図示



過去の洪水被害の写真



マップ上に発生個所を図示

(様式2-取組概要)

南砺市

カテゴリ	市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)
内容	浸水を回避できる高さに発電機を設置
実施主体	南砺市

【目的】被災時に電子機器の故障等による庁舎機能の停止を避ける。

【詳細】

庁舎統合に伴い、浸水範囲内にある庁舎別館の改修工事の際し、非常用発電機等を架台を用いて浸水深よりも高い位置に設置する等の対策を講じている。

※令和2年7月に庁舎統合予定のため、現状の写真なし